

東京放射線

2015年11月号

Vol.62 No.733



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

登録事項変更届
研修会等申込書

会費減額制度のお知らせ
会費減額処置申請書

平成26年度新人奨励賞 受賞報告

林 暁里

荒川区環境区民大賞奨励賞受賞報告 篠原健一、小野口敦
第66回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）
平成26年度特別功労賞・功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者

お知らせ

- 第3地区研修会
第4地区研修会
第6地区研修会

会告

- 第51回日暮里塾ワンドコインセミナー「学術教育がゆく／入会促進」
第18回メデイカルマネジメント研修会
平成27年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」

卷頭言 安心・安全な医療の確保には…

葛西一隆

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、性・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシエントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

診療放射線技師のための接遇規範	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 安心・安全な医療の確保には……………副会長 葛西一隆	4
会告1 第51回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く／入会促進＞…学術教育委員会	5
会告2 第18回メディカルマネジメント研修会	6
会告3 平成27年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」	7
お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ	8
お知らせ2 第6地区研修会	9
お知らせ3 第3地区研修会	10
お知らせ4 第4地区研修会	11
お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内	12
荒川区環境区民大賞奨励賞受賞報告	篠原健一、小野口敦
第66回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）	13
平成26年度特別功労賞・功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者	25
平成26年度新人奨励賞 受賞報告	林 嘎里
こえ	
・ペイシエントケア学術大会「がん患者をサポートする医療者」に参加して…石橋貴徳	29
・日暮里塾ワンコイン・フレッシャーズセミナーに参加して……………今野敦也	30
・フレッシャーズセミナーに参加して……………光武秀悦	31
バイブルайн	
・平成27年度第1回乳がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）	32
・平成27年度東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会	34
・第31回日本診療放射線技師学術大会	36
・超音波画像研究会 第240回定期例会	37
・平成27年度第2回肺がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）	38
・平成27年度東京都がん検診センター 第3・4回マンモグラフィ研修会（読影補助編）	40
・胃X線精度管理研究委員会 第24回学術集会	42
・平成27年度第3回関東Angio研究会（第2回ステップアップセミナー）	43
・超音波スクリーニング研修講演会2015有明	44
・第39回日本脳神経CI学会総会	45
平成27年度第5回理事会報告	46
会費減額制度のお知らせ	50
会費減額処置申請書	51
研修会等申込書	53
登録事項変更届	54

Column & Information

・学術講演会・研修会等の開催予定	52
・求人情報	55

卷頭言



安心・安全な医療の確保には・・・

副会長 葛西一隆

日進月歩で発展をする医療技術に携わるわれわれ診療放射線技師は、日々安全な医療提供を目指して患者様対応に努力していることと思います。安全とは、辞書で「安らかで危なくないこと」とあり、今の医療施設には、安心して診療を受けていただき、かつ患者様に満足していただくことが求められています。決して危険に晒すようなことがあってはならないのです。

また、医療事故を起こさないためには、信頼関係を前提とした患者様の協力も必要不可欠であることは言うまでもありません。しかし、患者様も診療放射線技師も人間である限り、事故やミスの発生は起こり得ます。そんな中、下記3項目の業務拡大が平成27年4月1日に施行されました。

- (1) 医師または看護師により確保された静脈路に造影剤注入装置を接続する行為（静脈路確保のためのものを除く。）造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- (2) 下部消化管検査のために肛門にカテーテルを挿入する行為並びに当該カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為
- (3) 画像誘導放射線治療のために肛門にカテーテルを挿入する行為及び当該カテーテルから空気を吸引する行為

この業務拡大に伴い必要な知識、技能を習得することが努力義務として課せられました。今、この業務拡大に伴う行為の講習会を日本放射線技師会主催で各都道府県にて行われています。ただ、実習などもあり定員数や開催の回数にも限界があります。多忙な業務に追われる中では、現場の診療放射線技師の受講数を増やすには相当の時間を要するように思われます。技師会としては、なるべく多くの方が講習会を受講し易いように環境を整えていきたいと考えています。最も重要なことは既に述べたように、危険を回避し医療ミスを防止することです。このためにも、この業務拡大に対する知識習得、実習教育の受講が肝要と考えます。

思い返せばわれわれの世代の診療放射線技師は、診療エックス線技師の免許を取った後2年間の実務経験をし、その後講習を受け診療放射線技師の国家試験を受験することができました。時代はその時々の流れによって常に変化しています。今回の業務拡大に伴う法改正もその変化の一つと考えられます。講習会の内容の中には、単に新たな手技を身に着けるだけでなく、患者の心理や接遇、さらに深い医学的な知識、感染管理や医療安全対策、薬物動態と副作用、医療倫理など多岐に渡ります。全国の診療放射線技師は講習会を必ず受講され、国民に安心で安全な医療を行うことができるよう、自分自身を進歩させていきましょう。理念だけでは安全な医療は提供できません。医療現場に求められているのは実効性のある医療安全の対策と実践だと思います。われわれは患者様の診断・治療に最新機器と手技で毎日携わっているのであり、安心・安全をモットーにして笑顔で日々切磋琢磨していく義務があると思うこの頃です。

会告 1

第51回

日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育が行く/入会促進> テーマ「診断参考レベルの意義と技師に求められるもの」

講 師 横浜労災病院 渡邊 浩 氏

19:00—19:10 技師会紹介

19:10—20:10 診断参考レベルの意義と技師に求められるもの

記

日 時：平成27年11月17日(火) 19時00分～20時30分

場 所：東芝病院 2号館4階 講堂 ☎140-8522 東京都品川区東大井6-3-22

アクセス：JR京浜東北線大井町駅（ヤマダ電機側）より徒歩約7分

東急大井町線大井町駅より 徒歩約9分

りんかい線大井町駅より 徒歩約9分

京浜急行立会川駅より 徒歩約10分

受 講 料：診療放射線技師（当日微収）500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※当日参加も可能です。

カウント付与：日本診療放射線技師会

生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司

E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

TEL・FAX : 03-3806-7724

以上





第18回 メディカルマネジメント研修会

テーマ「医療従事者（診療放射線技師）が知っておきたい
医療安全対策（リスク・マネジメント）と医療訴訟」

講 師：労働衛生コンサルタント・産業医

東京大学医学部附属病院 医師・医学博士 関谷 剛 先生

第18回メディカルマネジメント研修会は、昨今の医療安全対策関連について取り上げます。

業務拡大などで社会的認知度の高まる一方、業務への責任も増え、それに伴い医療訴訟も増加傾向にあります。したがって、適切なリスク・マネジメントを行うことが重要です。今回は医療従事者が知っておかなければならぬリスク・マネジメントを取り上げ、医療訴訟に巻き込まれないようなポイントを解説到します。

<内容>

1. 医療安全に関する基礎知識（医療過誤、医療事故の違いなど）
2. 診療放射線技師と法律上（医師法、技師法）の問題、関わり、権利
3. 実際の医療事故（インシデントを含む）で注意すべき点
(個人情報保護、インフォームドコンセント、検査依頼、受付、撮影室内、検査中、検査後などにおけるリスク)
4. 降りかかる医療訴訟リスクを回避するために何をすべきか

記

日 時：平成27年11月12日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徵収）

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

平成27年度診療放射線技師基礎技術講習 「消化管撮影」開催のお知らせ

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成27年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」を開催致します。

この基礎技術講習では公益社団法人日本診療放射線技師会が定めた学習目標に沿った講義を行います。診療放射線技師として、そして医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としております。

今回の開催は全国的に一定レベルのセミナーを普及・拡大させ、全ての診療放射線技師が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として全講義終了時に確認試験を実施します。多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成27年11月29日(日) 8時55分～（受付開始8時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（ただし検定試験料1,000円を含む）

申込方法：JART情報システム内のイベント申し込みメニューからお申し込みください

注）東放技事務局へのFAXおよび東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：お申し込み後、日放技より振込み先などの案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間（6時間）に対し、欠課の合計時間が60分を超えた場合

イ) 欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

カウント付与：修了者は日本診療放射線技師会学術研修カウントが付与されます。

締め切り：平成27年11月15日(日)

以上

プログラム

限	時間	科目	講師名（所属）
	8:55～9:00	開講式・オリエンテーション	
1	9:00～9:45	撮影技術－1 造影剤・鎮痙剤・下剤	北川 まゆみ（国立がん研究センター中央病院）
2	9:45～10:30	撮影技術－2 上部消化管	清水 賢均（野村病院）
3	10:40～11:25	撮影技術－3 下部消化管	安藤 健一（東京労働者医療会 東葛病院）
4	11:25～12:10	読影・レポートティング	田中 靖（東京山手メディカルセンター）
5	13:00～13:45	画質・性能評価	青木 聰（東海大学医学部付属八王子病院）
6	13:45～14:30	X線透視撮影装置の基礎知識	野中 孝志（公立福生病院）
7	14:40～15:25	被曝管理	圓城寺 純男（東京都保健医療公社多摩南部地域病院）
8	15:25～16:10	受診者管理（救急含む）	市川 重司（公立福生病院）
9	16:20～16:50	確認試験	
	16:50～	閉講式	

お知らせ

1

学術教育委員会からのお知らせ

日暮里塾ワンコインセミナーの開催は、研修センターのある日暮里を中心を開催をしておりましたが、平成27年度は都内各所（6回予定）に出向き開催を予定致します。

名称は「日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞」とし、一人でも多くの方に技師会を見ていただき、入会ならびに自己研鑽の場として活用していただきたいと考えております。加えて東京都診療放射線技師会が都民の医療を担う団体として、皆さまの協力のもと成長したいと考えております。

・・・日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞・・・

Part1 第44回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時：平成27年3月11日（水） 場所：三鷹産業プラザ
内容：着眼点＜咳＞
講師：山下晃司（杏林大学医学部付属病院）

Part2 第46回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時 平成27年6月12日（金） 場所：東京都済生会中央病院
内容 ミエログラフィ（透視検査からCT撮影まで）
講師 佐藤靖高（公立福生病院）
講師 河内康志（東京都済生会中央病院）

Part3 第48回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時 平成27年7月24日（金） 場所：順天堂大学医学部附属順天堂医院
内容 着眼点＜頭痛-MRI＞
講師 鈴木雄一（東京大学医学部附属病院）

Part4 第49回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時 平成27年9月30日（水） 場所：東京都診療放射線技師会研修センター
内容 基礎からの一般撮影
講師 森 剛（帝京大学医学部附属病院）

Part5 第51回日暮里塾ワンコインセミナー

日時 平成27年11月17日（金） 場所：東芝病院
内容：診断参考レベルの意義と技術に求められるもの 講師：渡邊 浩（横浜労災病院）

Part6 日時 平成28年1月

内容：未定 場所：江戸川方面

◆詳細は会告にてお知らせいたします。

◆問い合わせ 学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujiyu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

第6地区研修会

テーマ 「認知症高齢者への関わり方 ~ユマニチュードを通して~」

講師 東京さくら病院 リハビリテーション科 村島 久美子 氏

皆さんは、患者さんとの接し方をどのようにしていますか？ オレ流・私流で行っているのではないでしょうか。その接し方はどのようにして学びましたか？ また、その接し方で患者さんは満足しているのでしょうか？

今回、患者さんとの接し方を学ぶため「ユマニチュード」を取り入れ、業務を行っている村島久美子先生をお呼びして、考え方や実践方法を教えていただきます。「ユマニチュード（Humanitude）」は、フランスのイブ・ジネスト（Yves Gineste）氏とロゼット・マレスコッティ（Rosette Marescotti）氏によって作り上げられた、知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づいたケアの技法です。患者さんとの接し方、信頼関係の構築方法として学ぶことができると思います。また、患者さんへの接し方が治療効果の向上にも繋がることです。“診療”を冠に置く私たちの職種にとって大きな力になるのではないでしょうか。接遇も撮影技術のひとつであることを再確認し、さらなる撮影技術の向上を目指し一緒に学びませんか。

他職種の方も大歓迎です。ぜひお誘いください。チーム医療を構築するお力添えになれれば幸いです。

記

日 時：平成27年11月6日(金) 19時00分～20時30分（受付開始：18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

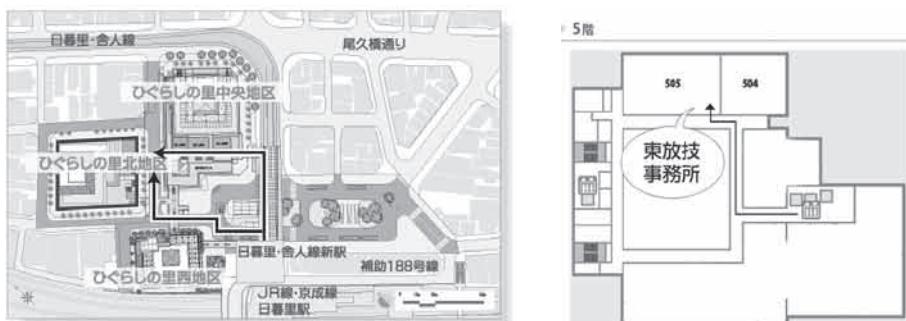
受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第6地区委員長 岡部博之 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



お知らせ 3

第3地区研修会

テーマ「ティーチングファイル －ここがポイント－」 ASOってなに？ 病態から治療まで

今回はASO (arteriosclerosis obliterans)について研修会を開催したいと思います。ASOとは主に下肢の血管が慢性に閉塞することによって、軽い場合には冷感、重症の場合には下肢の壊死にまで至ることがある病気です。われわれ診療放射線技師が知っておきたい、病態から撮影法・IVRによる治療法について3名の所属地区委員が講義を行いながら、皆さんと一緒に勉強できる研修会を企画しました。

この機会に多くの情報を収集していただければ幸いです。皆さんの参加をお待ちしています。

—プログラム—

「ASOってなに？」	東京医科大学病院	松本 亘 氏
「ASOのCT撮影」	東京医科大学病院	平瀬 繁男 氏
「ASOのIVR」	国立国際医療研究センター病院	若松 和行 氏

記

日 時：平成27年11月19日(木) 19時00分～20時30分 (18時30分受付開始)

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟3階 第1講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア クセス：丸の内線西新宿駅より 徒歩約1分、JR新宿駅西口より 徒歩約11分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

情報交換会：会費4000円（※予約の都合上、参加希望の方は研修会申し込みフォームの通信欄、または下記メールにて連絡をください）

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男 E-Mail：area03@tart.jp

以上



第4地区研修会 テーマ「Exposure Indexの使用方法と注意点」

講師：東海大学医学部付属八王子病院 由地 良太郎 先生

1895年 W・C Röntgen博士がX線を発見して120年が経ちました。

現在、われわれを取り巻く環境ではアナログからデジタルに移行しており、環境の進歩とともに被ばく線量についても関心が高いところと思われます。

そこで、今年度の研修会では一般撮影のデジタル画像に着目し、統一的な線量指標であるEI値^{*}に焦点をあわせました。このEI値の概念や有効的な使用方法について理解を深め、撮影条件の最適化や被ばくの低減など、さらなる医療安全に貢献して頂きたいと考えております。多くの皆様方の参加をお待ちしています。（※線量指標とは、富士・コニカはS値 キヤノンはREX値 フィリップスはEI値など）

記

日 時：平成27年11月27日（金）19時00分～（受付開始：18時45分～）

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階 第1会議室

参 加 費：診療放射線技師 500円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：氏名・地区名・勤務先を記載の上、メールアドレス（area04@tart.jp）でお申し込みください。もし
くは、東放技ホームページ（http://www.tart.jp/）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会
等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 竹安直行 E-Mail : area04@tart.jp

以上



お知らせ 5

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川方面・千葉方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研修会ペッタ等の開催地

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

トップページの
ここをクリック

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離箱式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/1...
2014/10/06 【研修会】第7地区研修会（第1回）（1...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなか生涯教...

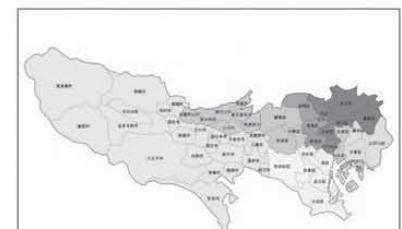
なお、毎月月替りで、各地区的特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

情報委員会



城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	墨田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地区	千葉地域
城南支部	第4地区	港区	渋谷区
	第5地区	品川区	大田区
	第6地区	世田谷区	目黒区
	第7地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第9地区	板橋区	豊島区
	第10地区	練馬区	中野区
東北支部	第5地区	文京区	杉並区
	第6地区	足立区	荒川区
	第7地区	埼玉方面地区	埼玉地域
多摩支部	第1地区	西東京市	東久留米市
	第2地区	小平市	東村山市
	第3地区	武藏村山市	東和町
	第4地区	上記、第1~2地区以外の多摩地域	



荒川区環境区民大賞奨励賞受賞報告

「環境区民大賞奨励賞」受賞にあたり

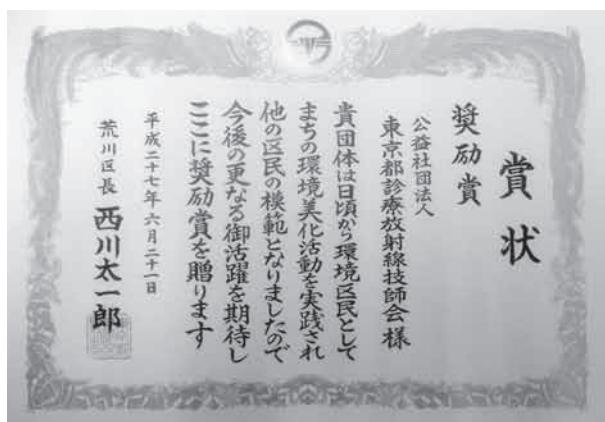
会長 篠原健一

このたびの「荒川区環境区民大賞奨励賞」受賞にあたり、ご配慮いただきました関係諸氏に心より感謝を申しあげます。

受賞理由となった「各種清掃活動の継続」は、本会第5地区の活動として町内会の「駅前清掃活動」に参加したのが始まりです。その後、東京都診療放射線技師会の事業として日暮里駅前や荒川河川敷、その他においての清掃活動を子供や家族も巻き込みながら地道に継続してきました。“継続は力”そして、特別なことではないけれど「なんとなく気持ちいい」をコンセプトに多くの会員の皆さんにご参加いただいたことにあらためて感謝申し上げます。自分の身の回りや生活・活動の場をきれいにするという当たり前の行動ではあります、公益社団法人として地域や公共の場での活

動が評価されたことを大変うれしく思います。

「公徳心」というと何か特別の道徳観念のように思われるかもしれません、戦前の日本の教育では当たり前の価値觀でした。戦後、占領政策により「祖国愛(愛国心)」=「国家主義」とされ、国を愛するという当たり前の心が否定されました。さらに日本人の公徳心を無くすような教育改革も行われたのです。藤原正彦氏は『日本人の誇り』(文春新書)で、「世界から絶賛されていた教育勅語を廃止して作った教育基本法では、個人主義を導入し公への奉仕や献身を大事にするという日本人の特性を壊しました」と書いています。今年は戦後70年、それでも我が東放技の多くの会員に公徳心が宿っていることを誇りに思います。



「第4回荒川区環境区民大賞」授賞式において奨励賞を受賞

小豆沢病院（前第5地区委員長） 小野口敦

このたび、平成27年6月25日に荒川区環境区民大賞授賞式が荒川区役所にて行われ、西川太一郎区長よりまちの環境美化推進部門において奨励賞を受賞いたしました。

この賞は、環境推進に関わるさまざまな活動を日頃から積極的に実践し、業績が顕著な方を応援する荒川区による顕彰の制度です。主に I.環境に配慮した活動部門 II.まちの環境美化推進部門に分けられています。この中からの奨励賞受賞となりました。なお、今回の様子は荒川区報2015.07.06（環境・清掃特集号）に掲載されています。

受賞に至る経緯としては、環境をテーマにボランティア活動の一環として、平成21年より今日に至るまで、継続して年に日曜・祝日に重なる20日に荒川区環境

課、地元自治会の皆さんと共に、会員、非会員を問わずその家族も含めて日暮里駅前清掃活動に参加してきたことがあげられます。

これまでの本会の清掃活動としては荒川区のみならず、平成20年の富士山清掃活動をはじめとし、富津海岸の清掃活動、平成21年には場所を都内に移し、日暮里駅前清掃活動に参加、さらに技師会事務所に程近い荒川河川敷にて、NPO荒川クリーンエイドに参加する形で清掃活動を行ってまいりました。平成27年には「中央区クリーンデー」に参加の広がりをみせています。

自然を守り、優しい環境を作ることを目的とした趣旨に基づき、公益社団法人の一員として環境活動を今後も継続していきたいと思います。



前列右端：篠原会長、後列右から2番目：小野口氏

第66回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)

石田総務委員長（司会）：ただいまより第66回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。平成26年度物故会員へ默とうをささげたいと存じます。皆さまご起立お願ひ致します。黙とう。ご着席ください。それでは初めに篠原健一会長よりごあいさつ申し上げます。

篠原東放技会長：技師会の篠原でございます。本日は週末の大変お忙しい中、第66回定期総会にご出席いただきありがとうございます。また今日は朝から第13回ペイシエントケア学術大会も開催しており、こちらの方からご参加いただいている方も大勢いらっしゃいます。1日長い時間を本当にありがとうございます。本日は中澤日本診療放射線技師会会长はじめ、多くの来賓の方にもご列席をいただき心より感謝を申し上げます。開会に先立ちましてわたくしの方から二つのお願ひと、報告を一つお話ししたいと思います。

まず一つ目のお願いですが、ちょうど1年前の6月、通常国会で地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備などに関する法律という、長い名前の法律が成立いたしました。それに基づいて技師法の改正などがあったことはご存じのことと思いますが、本年の4月1日に技師法などの一部改正があり診療放射線技師のいわゆる業務範囲の拡大が実施されたわけであります。3月31日の課長通知にも“診療放射線技師会が開催する安全講習会を受けるように…”ということが書かれていることは、皆さんご承知のことだと思います。その法律が成立する以前から、大腸検査あるいは静脈注射後の抜針止血などに関する安全講習会を実施してきたわけですが、ここで法律が変わり診療放射線技師として業務範囲が拡大をしたのであるから、実際にその業務に携わる携わらないに関係なく安全講習会全ての項目について受けなさいというような指示が厚労省からあります。この事から日本診療放射線技師会の事業といたしまして統一的な講習会を8月以降開催するというお知らせがありましたけれども、われわれはできるだけ早く実施したいとの思いで東京が全国に先駆けて

7月18日～19日に統一的な講習会を開催致します。当初は静脈注射後の抜針止血の講習会を受講された方のみというような制限はありますけれども、一回の決まった定員のなか、できるだけ多くの回数の開催をしていきたいと思います。また東京だけではなく全国いろいろな地域で繰り返し行っていますので、できるだけ早くに多くの方に、できれば全員に統一的な講習会を受講していただきたいというのが一つ目のお願いです。

二つ目のお願いですけれども、本年は皆さんご存じの通りエックス線発見120周年の記念の年であります。われわれの職業の原点となりましたエックス線が発見されて120年という年で、6月5日に日本診療放射線技師会主催でパレスホテルにて秋篠宮妃殿下のご来臨を賜りまして記念式典を挙行したところでありますけれども、この120周年の年に日本診療放射線技師学術大会が京都で開催されます。京都は日本のエックス線技術の発祥といっても良い土地であります。京都府放射線技師会の轟会長も先日関東甲信越学術大会においてになり、多くの皆さんに来ていただけるよう一生懸命準備をしているとおっしゃっていました。皆でこの記念の年の学会、京都を盛り上げていきたいと思いますので、ぜひ多くの方にご参加いただきたいということを二つ目のお願いとしたいと思っております。

最後に報告になりますが、これは一昨日に荒川区役所におきまして、荒川区環境区民大賞の奨励賞というのを東京都診療放射線技師会が団体として受賞させていただきました。授賞理由といたしましては、もともと第5地区ならびに城北支部の皆さまが中心となって、日暮里の駅前の清掃活動や富津岬（千葉県）の清掃活動、近くの荒川河川敷の清掃活動などを地道にしてきたことが奨励賞ということにつながったわけです。身のまわりをきれいにするのは当たり前のことで、特別なことをしたというつもりはありませんが、公益社団法人として受賞できたということはたいへん栄誉あることだとわたくしは思っております。最後に本日は各議題におきまして活発な議論をいただきたくお願いを申し上げましてわたくしの開会のあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願ひ致します。

石田総務委員長：次にご来賓よりご祝詞を賜りたく存じます。公益社団法人日本診療放射線技師会会长中澤靖夫会



長よりご祝詞を賜りたく存じます。

中澤日放技会長：ただ今ご紹介にあずかりました日本診療放射線技師会の中澤でございます。本日は第66回の東京都診療放射線技師会定期総会の開催ならびに第13回のペイシェントケア学術大会の開催を心からお喜び申し上げたいと思っております。私から三つほどお話しをさせていただきたいと思っております。

一つは井戸を掘った人の話でございます。先ほどの篠原会長からもご紹介がありました、私どもは昨年の第186通常国会開催中の6月18日に医療介護の一括法案可決成立しております。それに伴い診療放射線技師法の一部改正を勝ち取ったわけでございます。この動きの原点はどこにあるか、平成22年業務実態調査班というのを作りました。これは東海大学の原口さんが中心になりました平成22年度中に全国の診療放射線技師さんの業務の実態調査をし、平成23年の3月31日までにまとめていただきました。全国から1546アンケートが集まりました。これをまとめて厚生労働省の方に提出したわけでございます。厚生労働省の方で診療放射線技師だけの委員会を作っていただきまして、そこで各ステークホルダーに集まつていただいて審議をしていただき、それをまとめてチーム医療推進方策ワーキンググループに上程して審議していただきました。さらにチーム医療推進会議でお話しをしていただき、そして社会保障制度の医療部会、ここで最終的にまとめてもらったわけでございます。この活動は4年間続けて行ったわけであります。一つの法律を改正してゆく、各ステークホルダーの皆さん方がおられますので、この中で調整しながら何とか業務拡大を勝ち取ったということでございます。まさにわれわれの原点、井戸を掘った人は原口班であり、そして全国からご協力をいただいた特に東京都の皆さま方のアンケートへのご協力に心から感謝を申し上げたいと思っております。

二つ目の話題は、開かずの扉を開きましょうという話でございます。実は開かずの扉はいくつもあります。今日はひとつだけ紹介したいと思っております。私が会をお預かりした平成22年からすぐに厚生労働省医事課の免許室に行き、現在の免許の試験委員の在り方を変えていただきたいと考え、診療放射線技師の教育は診療放射線技師にやらせていただきたいとお願いしたわけであります。ところが当時の室長は“あなた方にそんな実力があるのですか？”という大変厳しいご意見をいただきました。反論したところは多くありましたがそこは抑えて、“どうしたら良いでしょうか？”とご相談をさせていただきました。そして平成23年には全国の27の大学の教授と博士の数、准教授と博士の数、講師と博士の数全部を出しました。われわれが試験委員長、副委員長をできる力を持っていますということを厚生労働省に提出したわけであります。そうしましたら室長から平成24年度から毎年やる国家試験の評価をやっていただきたいということになり、平成24年から3年続けて行いました結果、ようやく本年の7月の新しい国家試験委員の

中にわれわれの要望の一部が実現しそうだと思っているところでございます。まだまだ開かずの扉がいくつもありますけれども少しずつ皆さんとともにこじ開けていきたいと思っております。



今日の三つ目の話でございますけれども、立法府にわれわれ診療放射線技師の代表を送りこみましょうということでございます。私が平成22年に日本診療放射線技師会を預かりましてから医事課長が4人変わっています。平成22年当時は村田医事課長、そのあとは田原医事課長、そして本年の3月までは北沢医事課長、この4月からは渡辺医事課長となっております。われわれの基本的な所轄は厚生労働省でございますので必ず医事課長にお会いして政策を説明してくるわけです。ところが厚生労働省の人事は大体2年周期で変わります。そのたびごとに同じことを繰り返しながら説明しているわけですけれども、なかなかわれわれが思うような要望、改革というものが、少しずつは変わっておりますが、一気に変えていこうという力にはならなりません。そのためには行政との取り組みも大事でありますけれども、立法府に診療放射線技師の代表をぜひ送り込みたいと思っているわけでございます。皆さん方にもご理解をしていただきご支援をしていただき、そして未来の診療放射線技師のために皆さんとともに一緒に診療放射線技師の世界を開いていきたいと思っております。ぜひご協力をお願いしたいと思います。最後になりましたけれども東京都診療放射線技師会のますますのご発展と、本日ご列席の会員の皆さま方のご健勝をご祈念申し上げまして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日はご参集戴きありがとうございます。

石田純務委員長：日本診療放射線技師会会长 中澤様ありがとうございました。続きまして公益社団法人日本放射線技術学会東京支部長 飯田紀世一様よりご祝辞を賜りたく存じます。

飯田東京支部長：ただいまご紹介にあずかりました公益社団法人日本放射線技術学会東京支部の飯田でございます。本日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。第66回東京都診療放射線技師会定期総会盛大に開催されます





飯田東京支部長

ことを心よりお喜び申し上げます。また日頃より篠原会長をはじめ役員の方々、また今日ご列席いただいております会員の皆さま方の東京支部へのご支援を賜りましてこの場を借りて厚く御礼申し上げます。先月5月16日は東京支部の春季学術大会が行われました。その際には白木副会長にご列席賜りましてありがとうございました。皆さまのご協力をたまわりまして参加人数は500名近い参加をいただきました。盛大な会となりまして心より厚く御礼申し上げます。私どもの東京支部の事業につきましてご紹介をさせていただきたいと思います。本年度目標として、執行体制に学術事業の充実と活性化、そして国際化推進、もう一つは組織力強化です。その三つを執行体制の目標に掲げ役員一丸となって進めております。本年度も昨年度に引き続き、東京支部セミナー、ならびに技術フォーラム、本部の共催事業と、多くの事業を予定しておりますので皆さまのご参加をよろしくお願ひ致します。学術大会につきましては本年度秋の11月28日土曜日に駒沢大学駒沢キャンパスにて東京医科大学の吉田和則先生を大会長、東京慈恵会医科大学附属病院の樋口壯典先生を実行委員長として中心に開催する準備を進めております。こちらにつきましてもぜひ皆さま方の演題登録、ご参加をいただければと思います。少し早いですが来年は、5月に春季学術大会を予定しており、こちらにつきましては第70回と東京支部にとって節目の大会となります。記念大会と位置付けまして2日間、船堀にて開催する予定です。こちらも合わせて皆さまの多くのご参加をお願いしたいと思います。皆さまのご承知の通り、本年度の9月に第15回になります、東京診療放射線技師会と私ども東京支部との共催事業、学術講演会が開かれます。今後もこういった共催事業を進めるべく、これからも東京都診療放射線技師会と東京支部が連携を強化しながら両会の会員の方々の満足となるような事業を進めていきたいと思っておりますのでなにとぞご指導ご支援のほどよろしくお願ひ致します。最後になりますが、東京都診療放射線技師会のますますのご発展と、ここにご列席いただいている会員の皆さま方のご健勝を祈念申し上げましてはなはだ簡単でもございますが、ご祝詞の言葉とさせていただきたいと思います。本日は誠におめでとうございます。

石田総務委員長：飯田様ありがとうございました。続きまして衆議院議員自民党診療放射線技師制度に関する議員懇話会会長 鴨下一郎様よりご祝詞を賜りたく存じます。本日は公務の都合により秘書様がお見えになっておられますのでご挨拶を賜りたく存じます。

鴨下衆議院議員（代行秘書）：ただいまご紹介をいただきました自由民主党診療放射線技師制度に関する議員懇話会

の会長を務めさせていただいております衆院議員の鴨下一郎の秘書でございます。本日ご案内をいただきましたが、他の会合と重なりまして代理でお伺いさせていただきました。あらためまして本日は総会の開催誠におめでとうございます。先日6月16日に国会の衆議院会館におきまして議員懇話会を開催し、今日おみえの中澤会長の方から鴨下はじめ、懇話会に対して要望書を頂きました。これからも皆さまがより良い環境で、そして安心して業務に従事できますようわれわれもしっかりとお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、本年度もどうぞご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。結びに東京都診療放射線技師会のますますのご発展と本日ご参会の皆さまのご健勝ご多幸をご祈念申し上げましてご挨拶とかえさせていただきます。本日はお招きいただきまして誠にありがとうございました。

石田総務委員長：ありがとうございました。続きまして衆議院議員自由民主党診療放射線技師制度に関する議員懇話会幹事長 井上信治よりご祝詞を賜りたく存じます。本日は公務の都合により秘書さまがお見えになっておられますのでご挨拶を賜りたく存じます。

井上衆議院議員（代行秘書）：ご紹介いただきました衆議院議員 井上信治の秘書をしております。このたびは定期総会の開催誠におめでとうございます。鴨下先生ほど井上は有名ではありませんが、青梅市や奥多摩などの東京の一番西の方で井上は議員をやっており、皆さまにも普段から大変お世話になっております。井上は眼科の息子でございまして、医療それからその周辺を支えている皆さまの今後のために、より一層頑張っていきたいと申しておりますので懇話会の幹事長としても鴨下先生とともに頑張らせていただく所存です。今後ともぜひご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。本日はお招きいただきましてありがとうございました。

石田総務委員長：ありがとうございました。本日はほかにも医療関連職能団体のみなさまをお迎えいたして居ります。紹介させていただきます。公益社団法人東京都看護協会常務理事 濑下律子さま、瀬下様ありがとうございました。次に総会議事に先立ち表彰をとり行ないます。平成26年度における小野賞、永年勤続表彰、学術奨励賞、特別功労賞の表彰及び感謝状の贈呈をとり行ないます。それでは担当理事お願ひします。

高野涉外委員長：それでは本会表彰規定により平成26年度表彰を行います。特別功労賞、表彰規定第2条第1項により特別功労賞の表彰を行います。受賞者は森俊さんです。森さんは平成5年より広報幹事を4年、平成9年より同理事を6年、平成15年より将来検討委員会委員長



を8年、平成23年よりSR委員会委員長を3年と述べ21年間の長きにわたり当会の役員を歴任され適正な事業遂行と発展に尽力されました。その功績をたたえ理事会の決定により表彰致します。森俊さん壇上にお上がりください。

篠原東放技会長：表彰状、特別功労賞、森俊殿。あなたは多年にわたり本会事業の普及推進に寄与された功績はまことに顕著であります。ここに第66回定期総会においてその功労をたたえ記念品を贈り表彰致します。平成27年6月27日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもありがとうございました。



高野涉外委員長：続いて小野賞の表彰に移ります。表彰規定第2条第5項により小野賞の表彰を行います。小野賞は多年にわたり技師会活動ならびに地域医療に貢献された方々を対象に各委員会からの推薦を受け理事会の承認をうけた方々に贈られます。それでは本年度小野賞授賞の12名の皆さまを紹介致します。名前を呼ばれた方はその場にお立ちください。第1地区 平田充弘さん、第2地区 鈴木弘和さん、第4地区 沢田俊明さん、第5地区 藤田正義さん、第6地区 河合 繁さん、第10地区 大地直之さん、第11地区 安藤猛晴さん、第13地区 竹中輝和さん、第15地区 水野靖弘さん、第16地区 芦田哲也さん、経理委員会 横田 光さん、学術教育委員会 武俊夫さん、12名を代表して竹中輝和さん壇上にお願い致します。

篠原東放技会長：表彰状、小野賞、第13地区 竹中輝和殿。あなたは多年にわたり地区活動ならびに地域医療に貢献された功績はまことに顕著でありその功績は小野賞に値します。ここに第66回定期総会において表彰致します。平成27年 6月27日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもありがとうございました。



高野涉外委員長：授賞者の皆さまおすわりください。続きまして表彰規定第2条第2項により功労賞、勤続20年表彰

の方々を紹介致します。関根さとさん、中村美穂さん、武田恭彦さん、須山貴之さん、飯田哲也さん、柳原淑幸さん、中村匡宏さん、岩田雄介さん、芹澤正幸さん、小笠原康さん、伍賀友紀さん、打矢直記さん、以上の方々を代表して柳原淑幸さん壇上にお願い致します。

篠原東放技会長：表彰状、柳原淑幸殿。あなたは20年以上にわたり診療放射線業務に精励され技師会に貢献された功績はまことに顕著であります。ここに第66回定期総会において表彰致します。平成27年6月27日公益社団法人東京都放射線技師会会长 篠原健一。どうもありがとうございました。



高野涉外委員長：続いて学術奨励賞、新人奨励賞の表彰ですので学術教育委員長の市川担当理事に変わります。

市川学術教育委員長：学術教育の市川です。それでは平成26年度新人奨励賞、学術奨励賞を発表したいと思います。本年度は平成26年度新人賞2名、学術奨励賞1名となっております。それでは新人奨励賞の方から、演題名：全脊椎撮影における女性の生殖腺防護の検討、発表者：林 喎里さん、施設名：昭和大学藤が丘病院。受賞理由ですけれども小児撮影においては全脊椎撮影において生殖腺防護は大きな意味を持ちます。立位撮影という環境から技術的な困難をきたす作業でありまして、また時間も要し、検査への影響も懸念されます。そのような中、本研究は統計的にデータを取り、専用の防護衣を作成したことで生殖腺防護の精度が向上し患者さんへの負担、検査時間への軽減など有意義な研究と考えられます。今後も適用範囲を広げ更なる検討を期待したいと思います。それでは林さん壇上の方へお願いします。

篠原東放技会長：賞状、新人奨励賞、昭和大学藤が丘病院、林 喎里殿。平成26年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の全脊椎撮影における女性の生殖腺防護



の検討は極めて優秀と認められました。よって第66回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成27年6月27日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもおめでとうございます。

市川学術教育委員長：林さんおめでとうございます。続きましてもう一方、演題名：当院の接遇への取り組みについて、発表者：松永麻美さん、施設名：公益財団法人ライフエクステンション付属永寿総合病院。それでは松永さん壇上の方へお願い致します。

篠原東放技会長：賞状、新人奨励賞、公益財団法人ライフエクステンション付属永寿総合病院 松永麻美殿。平成26年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の当院の接遇への取り組みについては極めて優秀と認められました。よって第66回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成27年6月27日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもおめでとうございます。



新人奨励賞 松永氏

市川学術教育委員長：松永さん大変おめでとうございました。失礼いたしました。受賞理由を申し述べるのを忘れておりましたので後になりますけれどもお話しします。昨今検査数の増加や多様化によりまして検査、撮影を処理することに終始し、患者状態の観察がおろそかになり時として嫌悪感を持たれ、検査の質が低下することも少なくないとわれわれが気付かない環境下で患者さまからの意見は重要な資料、そして意見となります。本研究は長期にわたり、蓄積したデータをもとに患者の意見を分析することで従事するわれわれに有意義な情報を提供したことの大いなる意義を持つと思っております。患者様に寄り添った検査、検査構築は重要で接遇という点でも高く評価される研究でありました。以上です。おめでとうございます。では続きまして平成26年度学術奨励賞の方に移りたいと思います。演題名：デジタルサブトラクションangiography非搭載型心臓カテーテル専用装置を使用した下肢動脈炭酸ガス造影法の検討、発表者：渡邊真弓さん、施設名：河北総合病院。受賞理由ですけれども高性能な装置で高度で多岐にわたる放射線検査が施行される一方、諸事の事情により限られた装置、機能で検査を実行している施設も少ないとわれわれます。このような中、DSA機能搭載していない装置を使用した検査法の検討は創意工夫がみられ、非常に興味を引く有意義な研究でありました。また検討を進め

る上でも装置、検査法、画像に至るまで熟知したうえで検討する必要性が求められ、高い知識と十分な経験が必要とされます。また他施設でも同じような環境

の施設にとっては一考の余地があるのではないかと思っております。今後さらなる研究を進めていただきたいと思っております。それでは渡邊さん壇上の方へよろしくお願い致します。

篠原東放技会長：賞状、学術奨励賞、河北総合病院 渡邊真弓殿。平成26年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿のデジタルサブトラクションangiography非搭載型心臓カテーテル専用装置を使用した下肢動脈炭酸ガス造影法の検討は極めて優秀と認められました。よって第66回定期総会において学術奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成27年6月27日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもおめでとうございます。



学術奨励賞 渡邊氏

市川学術教育委員長：渡邊さんおめでとうございました。学術教育委員会からは以上です。

石田総務委員長：受賞者の皆さまおめでとうございます。なお受賞者の皆さまは記念撮影を本会場にて行いますので総会終了後はご着席のままお待ちいただきますようお願い申し上げます。総会議事に移ります前にご来賓の方々がご退席致します。ご来賓の皆さま方にはご多用にもかかわらずご出席を賜り誠にありがとうございます。貴会皆さま方の益々のご発展を祈念申し上げます。皆さま拍手でお送り願います。

それでは本総会の資格審査委員ならびに総会運営委員をご紹介致します。資格審査委員ならびに総会運営委員は総会運営規定により各地区から選出されております。資格審査委員として芦田哲也さん、池田麻依さん、伊佐理嘉さん、石川徹さん、小野賢太さん、熊谷大樹さん、田川雅人さん、中西雄一さん、細川直志さん、渡部史也さん以上10名、資格審査委員長は伊佐理嘉さんです。よろしくお願ひします。次に総会運営委員として安藤猛晴さん、中田健太さん、比内聖紀さん、藤村耕平さん、宮谷勝巳さん以上5名、総会運営委員長は藤村耕平さんです。よろしくお願ひします。



市川学術教育委員長



伊佐資格審査委員長

い一致します。それでは資格審査委員会報告を伊佐理嘉委員長よりお願い致します。

伊佐資格審査委員長：
資格審査委員会よりご報告を申し上げます。

平成27年6月4日理事会承認時の正会員数は2,073名です。総会成立会員数は本会定款17条第1項の規定により1/2以上の出席者数1,037名以上あります。現時点での会員出席状況をご説明致します。総会出席者数140名、書面評決数747名、委任状396名、合計1,283名、従いましてこの第66回総会は成立することを報告致します。資格審査委員長伊佐理嘉。

石田総務委員長：それでは本総会の議長団を選出したいと存じます。会場より立候補の方いらっしゃいますか。はい、壇上へお願い致します。それでは議長団よろしくお願い致します。

大室議長：第1地区の大室正巳です。

高嶋議長：第13地区の高嶋優子です。



大室議長：これより審議してまいります。第1号議案平成26年度事業報告案、第2号議案平成26年度決算報告案を私大室が、第3号議案平成27年事業計画案、第4号議案平成27年予算案を高嶋が担当致します。皆さまのご協力をいただき議事を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。初めに議事に入ります前に総会職員の任命についてお諮り致します。総会職員については総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますがこの場で改めて議長団より指名し皆さまの拍手をもって、承認を得たいと存じます。異議はございませんでしょうか。異議ないようですので指名をさせていただきます。初めに書記写真記録係として内藤哲也さん、岩井嗣憲さん、森美加さん、中谷麗さん、平田充弘さん、柴山豊喜さん、高橋克行さん以上7名の方々です。続いて会場係として浅沼芳明さん、松田紗代子さん以上2名の方々です。次に採決係として長谷川雅一さん、河内康志さん、雨宮広明さん、岡部圭吾さん、高瀬正さん、宮谷勝巳さん以上6名の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の大室正巳、高嶋優子及び全出席理事となります。それでは以上総会職員について拍手をもってご承認願います。ありがとうございます。

た。次に総会運営について総会運営委員会報告を藤村耕平 委員長よりお願い致します。

藤村総会運営委員長：
総会運営委員会より御報告申し上げます。た

だ今の時刻は16時15分です。これより第1号議案平成26年度事業報告案、第2号議案平成26年度決算報告案、第3号議案平成27年度事業計画案、第4号議案平成27年度予算案以上第1号議案から第4号議案までを16時45分までにご審議願います。会員の皆さま方の活発なるご意見とご協力をお願い致します。総会運営委員長 藤村耕平。

大室議長：ただ今の報告について異議ございませんでしょうか。異議がないようですので報告の通り議事を進めさせていただきます。続きまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し採決を行いたいと存じます。なお採決の方法は反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが異議ございませんでしょうか。



河手氏



藤村総会運営委員長

河手会員：異議あり。第14地区の河手と申しますけれども採決についてなんですが、保留というのはどういう意味なのかを説明願いたいと思います。書面評決には保留という欄がなくて賛成と反対しかなく、ここであえて保留というのはどういうことなのか説明お願ひできますか。

大室議長：執行部の方でよろしいですか。

篠原東放技会長：総会運営規定に書いてあると思うのですが、反対、保留、賛成というように総会の会場においては行っております。書面評決票との整合性ですけれども、書面評決は議事に参加はせずあえてそこで意思表示をすることと保留ということは設けておりませんけれども、そこに特別何か恣意的なものはないつもりです。保留という評決について何か不都合がございますか。

河手会員：保留ということは賛成でも反対でもないということでおろしいでしょうか。

篠原東放技会長：出席をされたこの会場で、意思表示をしかねるという場合が多々あると思います。これは日本診療放射線技師会の総会においても、賛成とも言えない反対とも言えないけども賛成に手をあげることがあります。私は何か条件付きで賛成というような、意思表示の一つではないのかなというようなつもりで受け止めてまいりました。

河手会員：定款にはそういうことは載ってないですよね。

篠原東放技会長：総会運営規定の、採決というところにあります。第22条に採決の順序は原則として反対、保留、賛成の順で採決するというのが総会運営規定にございます。

採決というのは総会の場においての採決、書面評決は採決ではありませんので、その辺の違いだと認識しております。

河手会員：わかりました。ありがとうございました。

大室議長：規定というものは定款に準ずるものでございま



大室議長

すので、ご理解をいただければと思います。ほかに何かございませんでしょうか。ないようですので議事に入ります。まず第1号議案平成26年度事業報告を議題と

致します。それでは執行部より報告お願い致します。

篠原東放技会長：平成26年度事業報告につきまして総括について読ませていただきます。激甚な自然災害、“誤報”により著しくわが国の国益を損なった新聞社、IS（イスラム国）問題、各種テロ、少年凶悪犯罪など重苦しさが記憶に残る反面、日本人にとって誇らしく明るい話題も数多くあった。ノーベル物理学賞を赤崎氏・天野氏・中村氏が受賞されたことを筆頭に、水素社会を予感させる日本の技術革新や宇宙技術の振興、各種スポーツにおける快挙などである。昨年6月18日「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」により診療放射線技師法が改正され同25日公布、本年4月1日発効によりいわゆる診療放射線技師の業務範囲が拡大する。われわれが目指す抜本的改正とはいえないが、1951年（昭和26年）“診療エックス線技師法”の公布・施行後、1968年（昭和43年）に診療放射線技師の区分が新設されて以降では最大の改定であった。とりわけ診療放射線技師法第26条第2項が改正されたことは意義が大きい。

従来法では、「診療放射線技師は、病院又は診療所以外の場所においてその業務を行つてはならない。ただし、次に掲げる場合はこの限りでない」とし、その第2号に「多数の者の健康診断を一時に行う場合において、医師または歯科医師の立会いの下に100万電子ボルト未満のエネルギーを有するエックス線を照射するとき」とあり、一部地域で医師の立会いが不備であるとして住民検診が休止に追い込まれていた。これについて「胸部エックス線撮影」のみではあるが医師または歯科医師の立ち合いが不要となり、国民の健康を守る観点から6月25日の公布日に即日発効した。

なお、本会も第65回定期総会で定款改正を行い、正会員の



要件であった“都内在勤または在住”という縛りをなくした。この要件は旧社団法人時代も公益社団法人移行時も監督官庁（都庁）の一貫した指導であったが、本会の長年にわたる“東京の地域性”に対する説明が理解された。転職する会員、都県をまたいで広域に関連病院・事業を持つ施設に勤務する会員、定年後などの会員資格安定のために重要な改正であった。

職能団体として診療放射線技師の将来像を構築すべく、日本診療放射線技師会、日本放射線技師連盟とともに「がん対策基本計画に基づく診療放射線技師の充実及び環境整備」・「チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用」・「診療放射線技師法の改正」などについて各方面に政策を説明してきた。

平成24年4月の公益社団法人移行後初めてとなる東京都による「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律、第27条第1項及び第59条第2項の規定に基づく立入検査」が平成27年3月17日に実施され、「事業」「ガバナンス」「会計」について審査された。全体として「概ね良好に管理・運営されており、文書による改善命令はない」との評価であった。会員、関係団体、役員の皆さまのご支援・協力のおかげであり感謝申し上げる。より良い事業展開をするための指導を何点かいただいたので、真摯に受け止め今後の活動に反映させていく所存である。



篠原東放技会長

われわれ診療放射線技師は国民の皆さまの信頼に応え、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべくさまざまな方策を展開しなければならない。安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（最善の根拠）と専門性と患者の価値観の統合に基づいた医療技術=EBMを提供する必要がある。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。また、「静脈注射(針刺しば除く)講習会」を中心に安全講習会を開催してきた。「静脈…講習会」については昨年度も5回開催し、過去の6回と合わせ約500名の方が受講した。これについては本年度からは日本診療放射線技師会による業務範囲拡大項目を網羅した「統一的講習会」が実施される予定である。

本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げるとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第であります。

事業報告の詳細につきましては東京放射線総会特集号5月号に詳細が掲載しておりますので、ここでは割愛させて

いただきますが皆さまのご審議をよろしくお願い致します。
大室議長：これより審議に入ります。恐れ入りますが発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。また所属地区、氏名を述べてから発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。どなたか質問意見ありませんでしょうか。ないようなのでこれで質疑を終ります。続いて本件について採決を行います。採決係の皆さま準備を願います。採決を行います。反対の方挙手を願います。保留の方挙手願います。賛成の方挙手願います。ありがとうございました。賛成多数によって26年度事業報告は原案の通り承認されました。続いて第2号議案平成26年度決算報告を議題と致します。執行部より報告願います。

関経理委員長：経理を担当しております関と申します。よろしくお願い致します。

これより平成26年度の決算報告をさせていただきます。会誌5月号の39ページから47ページが第2号議案の決算報告となっております。

まず、39ページの貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債及び正味財産の合計とが一致しております。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものについて説明し金額については端数の読み上げを省略させていただきます。流動資産の現金預金でありますが当年度は前年度に比較して113万円ほど減少しております。

次に固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが建物部分について前年度より67万円ほど減少しております。これは事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものであります。建物附属設備、什器備品についても同様に減価償却されております。

次に負債の部になります。まず前受会費ですが、これは3月中に入金されたもので収益ではなく負債として計上しております。通常は4月以降に請求しているため、前もって入金された額はわずかとなっており本年度はありませんでした。長期借入金は、現在の事務所取得のためのもので返済により222万円の減少となっております。以上により当年度末の資産は8,195万円となっております。

次に40ページ、41ページに正味財産増減計算書を示しております。またその内訳表を42ページ、43ページに示しております。内訳表の右側には参考のために予算との差異を掲載しました。以下、主に内訳表で予算との差異がある箇所について説明させていただきます。受取会費は、予算と比較して正会員受取会費194万円、賛助会員受取会費61,000円を合わせて予算比200万円の增收となっております。これは過年度分の会費が多く入金されているためと、新入会員がやや増加傾向にあると思われます。

次に研修会事業収益は皆さまの参加のご協力もあり予算比でわずかに增收となりました。親睦会事業収益についてはボウリング大会や新春の集いになりますが、これは毎年参加人数に影響を受けています。

次に経常費用に移りますが事業費と管理費に大きく分かれています。事業費は技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用となります。予算との対比でわかる通り全体的には節約志向で活動しており減少しているところが多く見られます。事業費から特徴のあるところを説明しますと、多く支出しているところは印刷製本費と諸謝金になります。印刷製本費は定款規程の発行や技師会パンフレットの製作などがありました。これは継続性ではなく単年度限りのものとなっております。諸謝金は研修会事業を多く開催したため収入も増加しているためにバランスは取れております。そのほかは例年通りの実績となっております。



関経理委員長

43ページの管理費についても同様の傾向となっております。以上のような内容により最終的に経常収益は2,705万円、経常費用が2,697万円で当期の経常増減額は76,900円となります。ただしこの金額には会計基準の変更により計上している減価償却費分が含まれております。減価償却費は計上されではありますが購入した時に費用を支払っているもので実際には現金預金の流出を伴わない費用となっております。したがいまして実態としては事業の損益は節約傾向となっております。以上で決算報告と致します。よろしくお願い致します。

大室議長：続いて26年度監査報告をお願い致します。

乙井監事・野田監事：監事の乙井です。監事の野田でございます。報告させていただきます。

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

監査の方法及びその内容。各監事は、理事及び使用人などと意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人などからその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類などを閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書ならびに財産目録について検討しました。監



査意見。事業報告などの監査結果。事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為

又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。計算書類及びその附属明細書ならびに財産目録の監査結果、計算書類及びその附属明細書ならびに財産日録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上です。監事乙井です。監事野田でございます。

大室議長：それでは質疑に入ります。2号議案平成26年度決算報告案と監査報告についてどなたかご質問ご意見ありますでしょうか。ありませんか。ないようですのでこれで質疑を終ります。本件について採決を行います。採決係の皆さま準備を願います。採決を行います。反対の方挙手を願います。保留の方挙手願います。賛成の方挙手願います。ありがとうございました。賛成多数によって平成26年度決算報告は原案の通り承認されました。



高嶋議長

高嶋議長：それでは第3号議案の平成27年度事業計画を議題と致します。執行部より説明願います。

篠原東放技会長：平成27年度の事業計画案について総括を述べさせていただきます。

わが国は今年で戦後70年の節目を迎える。安倍晋三首相は70年を振り返り「平和国家としての歩みはこれからも変わらない」と強調するとともに「次なる80年、90年、100年に向け、日本は積極的平和主義の旗の下、世界の平和と安定に一層貢献していくなければならない。この明確な意思を世界に発信したい」と述べた。“アベノミクス”において、医療は第三の矢（成長戦略）の重要な要素と位置付けられたが、われわれ日本の診療放射線技師も国内にとどまらず世界に対して診療放射線技術（人材）の発展・普及、ひいては経済や社会の安定に寄与できるものと確信している。

昨年6月18日、第186国会において業務範囲拡大などに関する診療放射線技師法改正を含む「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備などに関する法律案」が成立した（同6月25日公布、一部即日発効を除き本年4月1日発効）。これに伴う国民の皆さまの安心・安全な医療推進のための講習会などについて必要な事業を推進する所存である。

また、公益社団法人日本診療放射線技師会の重要な政策である。

- ①がん対策基本計画に基づく診療放射線技師の充実及び環境整備
- ②チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用
- ③医療安全のための適切な管理体制の構築
 - 1) 医療放射線による被ばくの管理体制
 - 2) 放射線関連医療機器の管理体制
 - 3) 画像データの管理体制

④養成教育の四年制大学化への移行及び卒後臨床研修の制度化

⑤緊急被ばく並びに医療被ばくに対応するための専門官の配置

⑥放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用

⑦診療放射線技師法の改正

などについても引き続き協働して推進していく。

本年は1895年にレントゲン博士（Wilhelm Conrad Röntgen）がエックス線を発見してから120周年の記念の年でもある。関連の記念行事に会員の積極的な参加を促し、一般の方々や他職種への啓発・情報普及を図るとともに、2020年東京オリンピックに向か、海外の人々が日本の医療機関を受診した際に少しでも安心できるような診療放射線技師の育成（語学・接遇など）にも着手したいと考える。われわれは国民の信頼にこたえ、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。広告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関連法令の改訂など、政策立案が必要であり、診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入っていく公益事業も引き続き推進する。

災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）なども災害対策委員会を中心に活動していく。

会員諸氏のより一層のご支援とご協力をお願いする次第であります。平成27年度事業計画の詳細については先ほどもいいましたように会誌5月号の総会特集号に詳細が記載されておりますのでよろしくお願いを致します。

高嶋議長：これより質疑に入ります。事業計画に関してご



質問、ご意見などある方はいらっしゃいますでしょうか。ないようすで本件について採決を行いたいと思います。採決係の皆さま準備を願います。反対の方挙手を願います。保留の方挙手願います。賛成の方挙手願います。賛成多数。よって平成27年度事業計画は原案の通り承認されました。それでは第4号議案の平成27年度予算書を議題と致します。執行部より説明願います。

関経理委員長：これより平成27年度予算書をご提案させていただきます。会誌は5月号の59ページから60ページが第4号議案の平成27年度予算書となっております。

まず一番上の行を横に見ていただくと公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計になります。その右側に参考として前期予算との差異を掲載しました。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものを説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。

まず59ページの上半分でありますが経常増減の部、経常収益で本会の収入を示しております。受取会費でありますが、会員は約2,000名ということで正会員と賛助会員で合わせて約2,000万円を計上しております。昨年定款が改正されまして賛助会員から正会員へ移行されたため正会員の割合が多くなっております。その他の事業収益、受取寄付金、雑収益については前年実績を参考に計上しております。

次に59ページ下半分と60ページにかけての経常費用つまり支出についてご説明します。前期予算との対比で分かる通り、昨年度とほぼ同額となっており今までどおりの節約志向での活動を目指しております。広報関連費と諸謝金については前年実績をもとに計上しておりますが活発に公益活動を実施することと研修事業の充実を目指すということでもやや予算を増額いたしました。以上より最終的に経常収益を2,558万円、経常費用を2,558万円となり、当期経常増減額を0円としております。以上平成27年度予算書をご提案します。ご審議をよろしくお願い致します。

高嶋議長：これより質疑に入ります。本件に関してご質問、ご意見あります方いらっしゃいますでしょうか。ご発言はスタンドマイクのところで行っていただき、地区とお名前をお願い致します。



河手会員：第14地区の河手と言います。計算のことはよくわからないのですが、前年度の残高が76,900円ということになっていて、これは本年度の予算の収入のところに入っているのでしょうか。ふつうは繰越金として、前年度の繰越金が次の年の収入のところに入るのではと思ったのですが、前年度の残高はどのような扱いになっているのでしょうか。

高嶋議長：執行部よりお願い致します。

関経理委員長：これは公益法人の会計基準によって資産の方に入りますので繰越金はここには入っておりません。

河手会員：公益法人はそういうことになっているということですか。

関経理委員長：そういう法律（補足：公益法人会計基準「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」）になっています。

河手会員：去年の予算書にも前年度は入っていないということですね。

関経理委員長：毎年予算を組んでそれを支出するということです。

河手会員：それは収入ということではないという考え方ですか。

関経理委員長：通常の会みたいな繰越金という扱いはありません。

河手会員：資産ということですか。

関経理委員長：はい。貸借対照表の資産に入っています。

河手会員：はい。ありがとうございました。

高嶋議長：ほかにはございませんでしょうか。ないようすで質疑を終わり本件について採決を行います。採決係の皆さま準備を願います。反対の方挙手を願います。保留の方挙手願います。賛成の方挙手願います。賛成多数。よって平成27年度予算書は原案の通り承認されました。以上もちまして第66回定期総会の議事を終了させていただきます。最後に平成27年度のスローガンを読み上げて採択と致します。チーム医療を推進し国民および世界に貢献する診療放射線技師の育成、以上になります。ただいまをもって議長団を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝を申し上げます。

石田総務委員長：大室議長、高嶋議長ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝を申し上げます。以上で本日の全日程が終了いたしました。葛西副会長より閉会のご挨拶を申し上げます。

葛西副会長：皆さん今日は出席いただきまして誠にありがとうございます。当初会長もお話ししましたけれども業務拡大により統一講習会を行っております。ぜひ



皆さんに参加していただきたいと思っております。それでは第66回東京都放射線技師会総会を閉会致します。本日はありがとうございました。

以上

平成26年度
特別功労賞・功労賞(勤続20年表彰)・小野賞 受賞者

【特別功労賞】

第3地区 森 俊

【功労賞（勤続20年表彰）】

第2地区	関根 さと	聖路加国際病院
第2地区	中村 美穂	聖路加国際病院
第2地区	武田 恭彦	聖路加国際病院
第2地区	須山 貴之	聖路加国際病院
第4地区	飯田 哲也	東京慈恵会医科大学附属病院
第6地区	柳原 淑幸	東京さくら病院
第8地区	中村 匠宏	東京蒲田医療センター
第11地区	岩田 雄介	自衛隊中央病院
第13地区	芹澤 正幸	奥多摩病院
第13地区	小笠原 康	立川中央病院
第14地区	伍賀 友紀	高崎総合医療センター
第14地区	打矢 直記	千葉医療センター

【小野賞】

第1地区	平田 充弘	読売クリニック
第2地区	鈴木 弘和	聖路加国際病院
第4地区	澤田 俊明	日本電気株式会社
第5地区	藤田 正義	東京大学医学部附属病院
第6地区	河合 繁	東京慈恵会医科大学附属第三病院
第10地区	大地 直之	河北総合病院
第11地区	安藤 猛晴	東邦大学医療センター大橋病院
第13地区	竹中 輝和	野村病院
第15地区	水野 靖弘	目黒ゆうあいクリニック
第16地区	芦田 哲也	春日部市立病院
経理委員会	横田 光	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
学術教育委員会	武 俊夫	昭和大学横浜市北部病院



功労賞（勤続20年表彰）



特別功労賞



小野賞

平成26年度
新人奨励賞 受賞報告



「特発性側彎症患者における女性患者の生殖腺防護を考慮した全脊椎撮影法の検討」

○林 映里¹、加藤 京一²、藤澤 宏信³、渋谷 綾子¹、高橋 俊行²、中澤 靖夫³

¹昭和大学藤が丘病院放射線室、²昭和大学大学院保健医療学研究科、³昭和大学病院放射線室

【背景】

当院では、全脊椎正面撮影において、50歳未満の女性患者すべてに生殖腺防護を行っている。その際、恥骨結合やヤコビー線を指標として触知して防護位置を決定している。しかし、全脊椎撮影は骨盤腔を防護しつつ、かつ仙腸関節下縁までを描出する必要があるが、立位の状態での体表指標が触知しにくく、ならびに再現性の良いプロテクタの装着は困難であった。

さらに、対象患者も思春期の女性が多く、男性の撮影者が、プロテクタの位置決めのために患者の下腹部を触れることに関しては、羞恥心の観点から抵抗があった。プロテクタの固定に関しても既存の鉛ゴムをテープで固定しているため、外れてしまうこともあり、骨盤腔の形状と合わないなど、防護の意味をなさないことを経験した。

【目的】

全脊椎撮影において、生殖腺防護の最適位置、プロテクタ形状を検討し、撮影者が女性患者の体に触れることなく正確に生殖腺防護を行うことができる検査着を作成する。

【使用機器】

- ・X線撮影装置：POLYDOROS LX50 Lite (SIEMENS)
- ・FCR
- ・メジャー
- ・男女共用プロテクタ（鉛ゴム）
- ・鉛板
- ・検査着（ズボン）

【方法】

i. 全脊椎撮影プロテクタの形状の決定方法

プロテクタの形状を検討するため以下に点を計測した。

- ① 頭頂～座骨下縁（座高）
- ② 骨盤長径、短径
- ③ 骨盤腔長径、短径

なお、計測には無作為に抽出した50歳未満女性患者47名の全脊椎正面撮影画像を用いた。

ii. プロテクタ最適位置の決定方法と専用検査着作成

プロテクタの位置を決定する基準線を立位でも触知しやすいヤコピー線とし、ヤコピー線-骨盤上縁間距離を計測し、プロテクタ最適位置を検討し、専用検査着を作成した。なお、計測には方法 i で計測を行った47名の全脊椎正面撮影画像を用いた。

iii. 従来法と新撮影法でのズレの比較、検討

従来法と新撮影法で撮影した画像で、骨盤腔に対するプロテクタの上下左右のズレを計測し、比較、検討した。ただし、プロテクタ設置位置が骨盤腔上縁より上方のズレをプラス、下方のズレをマイナス、正中から左外側へのズレをプラス、右外側のズレをマイナスとした。

【結果】

i. 全脊椎撮影プロテクタの形状の検討

座高のバラつきの値が大きいのに対し、骨盤、骨盤腔の長径と短径のバラつきの値が小さい結果となった (fig.1)。

プロテクタサイズは、骨盤腔長・短径の最長値、長径15.5cm、短径11.5cmとなる骨盤腔を覆うことができる長径16cm、短径12cmの鉛板 (fig.2) を作成した

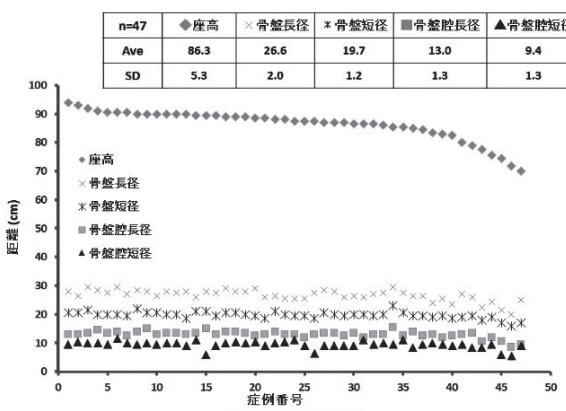


fig.1 座高-骨盤腔短径

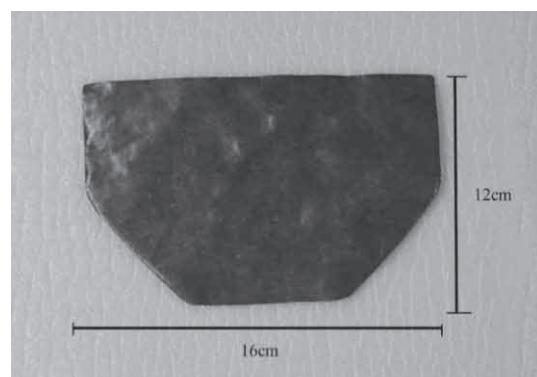


fig.2 全脊椎撮影専用プロテクタ

ii . プロテクタ最適位置の検討

ヤコピー線-骨盤腔上縁間距離は、最長で9cm、最短で7cm、平均値は7.8cmとなり、最も8.5cmが多い結果となった (fig.3)。そのためプロテクタ最適位置を7cmから8.5cmの患者に適用できるよう、8.5cmに決定した。また、結果 i で作成した鉛板が検査着の上端位置から8.5cm下に装着できるポケット付の検査着 (fig.4) を作成した。

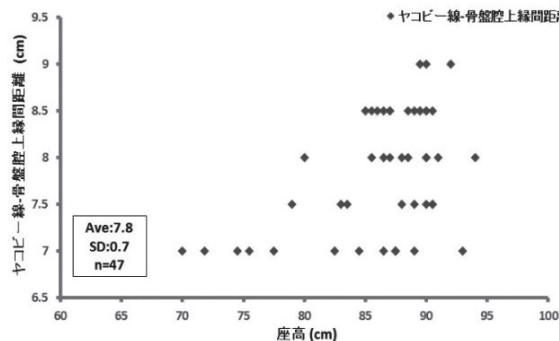


fig.3 ヤコピー線-骨盤腔上縁間距離

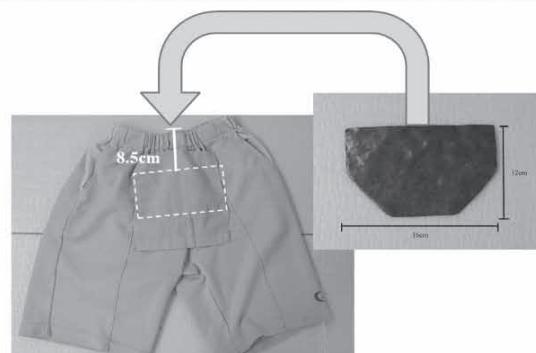


fig.4 全脊椎撮影専用検査着

iii . 従来法と新撮影法でのズレの検討

従来法では上下ズレが最大11cmあったものが、新撮影法では最大2.5cmに減少し、平均値も3.6cmから1.1cmと減少していた (fig.5)。また左右ズレも平均値が1.0cmから0.5cmと減少していたが、有意差はなかった (fig.6)。

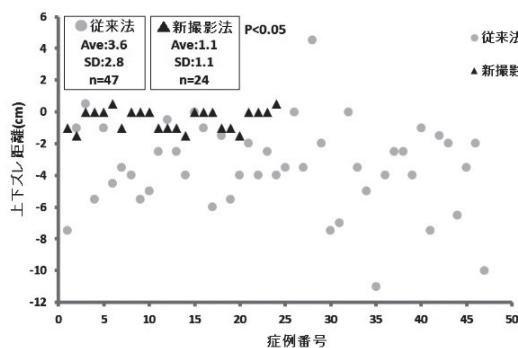


fig.5 従来法・新撮影法 プロテクタ上下ズレの距離比較

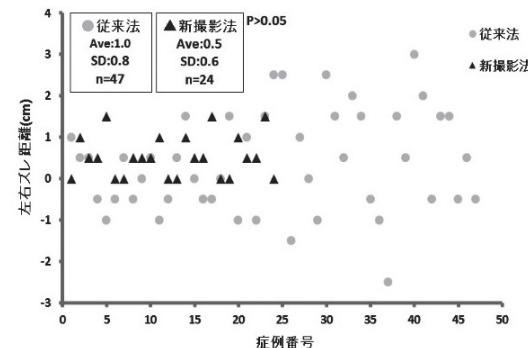


fig.6 従来法・新撮影法 プロテクタ左右ズレの距離比較

【考察】

プロテクタの上下ズレが従来法より新撮影法が減少したのは、指標をヤコピー線とした全脊椎専用検査着を用いることで、再現性良く安定した位置にプロテクタを装着することができたためであると考えられた。また、下方へのズレが生じた理由として、ヤコピー線-骨盤腔上縁間距離を平均よりも大きく設定したためだと考えられた。

左右ズレで、従来法と新撮影法の間に差が見られなかった理由として、特発性側弯症の女性患者の体型が、類似して細身であるため、体の正中面を視覚的にも明瞭に指摘することができたためであると考えられた。

【結語】

全脊椎撮影を行う特発性側弯症女性患者に対し、プロテクタの形状と最適位置を特定し、ヤコピー線より8.5cm下にプロテクタ上端を装着することにより、正確に生殖腺防護を行うことができる全脊椎撮影専用検査着を作成することができた。

また、再現性良く、患者の身体に触知せずに正確に生殖腺防護を行うことが可能となった。

ペイシエントケア学術大会「がん患者をサポートする医療者」に参加して

駒澤大学医療健康科学部 石橋貴徳

平成27年6月27日に開催されたペイシエントケア学術大会に参加しました。臨床検査技師、管理栄養士など他職種の方々の視点からの、がん患者に対する意見や考えを初めて聞くことができました。

特に印象に残ったことは、歯科衛生士の役割でした。日々の講義を聞く中で、放射線治療を行う際は、照射エネルギーの大きさ、照射範囲の設定、放射線障害の防止などについてしか知りませんでした。放射線治療を行う前に口腔内を清潔に保つことで、口腔粘膜炎などを予防することができQOLを維持できるなど、歯科衛生士の役割を知ることができました。また、放射線治療を行う際は歯科衛生士の意見を聞き、患者の治療スケジュールを立て実行するなど、初めて知る内容が多く興味を持てました。

疑問に思ったこととしては、管理栄養士の役割でした。患者様の体重の減少を防ぐことを目的としており、病院外で作られた食事に関して、病院内にいる管理栄養士の方々がどのように関わることができるのか。ま

た、病院では治療のために食べ物に対して制限があることなど、この環境では体重減少を防ぐのは困難であると感じ、より対策を考えなければならないと思いました。患者家族の関わり（患者と一緒に食事をとる、食事を食べさせてあげるなど）も患者の予後に大きく影響を与えると改めて知ることができました。

他にも、消化管検査のバリウムの特性など、まだまだ知らないことがたくさんあるのだと改めて思い、まずは日々の学校の講義を集中して聞き、基礎を身に着けられるように努力していきたいと思います。

私はこの学術大会に参加することで、改めて他の職種の方々とコミュニケーションを図ることが重要であること、診療放射線技師の役割として最も重要なのは、目的にあった診断できる画像を医師に提供することが大切なのだと改めて思いました。

今後、積極的に技師会・学会などに参加し、さまざまな方々の意見・考え方などを聞き、自分の知識や見識を深めていきたいと思いました。



こえ

日暮里塾ワンコイン・フレッシャーズセミナーに参加して

東京都健康長寿医療センター 今野敦也

5月31日に日暮里の東京都診療放射線技師会研修センターで行われたフレッシャーズセミナーに出席させていただきました。今年から診療放射線技師となり、まだ分からぬことが多い中で、基礎となることを学べる今回のセミナーは今後に役立っていくと思い参加をしました。

内容は感染対策、医療安全対策、胸部撮影、解剖学についてでした。感染対策講座では手洗いが感染防止に一番大きな役割を果たすことを教わり、手指消毒の手順や洗い残しの起こりやすい部位について学びました。他にもマスク、手袋の使用について実際に着脱を行なながら教えていただきました。

医療安全対策講座はリスクマネジメントについてでした。患者さんの被害と組織の損害を最小限に抑えるため、インシデント、アクシデントレポートを活用し病院全体で組織的に取り組むこと、医療安全は検討と

改善を繰り返し継続することが重要だと分かりました。

胸部撮影講座では胸部単純撮影は、胸部疾患の疑いで第一選択となったり、入院時の結核の感染症発見に一役買ったりなど多くの情報が詰まっていると教わりました。その情報を自分で読み取るためにも、積極的に一枚でも多くの画像を読影していく、読影力を身に付けていきたいです。

解剖学講座では良い写真を撮るには解剖学が必須であること、解剖学を身につけることで読影力がつき、それが撮影技術の向上に繋がると教えていただきました。それを聞き、改めて解剖の大切さについて知り、解剖を勉強しなければならないと感じました。

今回のセミナーで新たに身に付いた知識がたくさんありました。これを今後の業務に生かしていき、より良い検査を行える診療放射線技師を目指していきたいです。



こえ

フレッシャーズセミナーに参加して

帝京大学医学部附属病院 光武秀悦

私は、先日5月31日に開催された平成27年度フレッシャーズセミナーに参加しました。会場には席がほとんど埋め尽くされるほど非常に多くの参加者が集まり、私のような診療放射線技師一年目の方が多くみられました。

研修会の最初に社会人としてのエチケット・マナーについて学び、その後には医療安全、感染対策、胸部単純撮影講座など基礎的な内容について実習を交えながら詳しく解説していただきました。

感染対策の講座では標準予防策に含まれる個人防護具の着脱の練習を実際に行いました。最近、韓国や中国で中東呼吸器症候群（MERS）が感染拡大し世間を騒がせていますが、グローバル化により日本でもMERSが流行する可能性も十分考えられています。このような感染症を少しでも拡大させないよう、日頃から標準予防策を徹底することが大事だとこの講義を通

じて感じました。

また、画像診断用解剖学講座の中で良い写真とはどのようなものなのかを、市川重司先生が解説していましたが印象的でした。市川先生は「長時間かけて患者さんに大きな負担をかけて上手に撮影をしても良い写真とは呼べない」とおっしゃっていました。現状を考えると、撮影をするだけで精一杯の私には足りない部分だと感じました。今後、患者さんの負担を減らせるように工夫して撮影をしていこうと思います。

フレッシャーズセミナーに参加して技師会の活動内容や放射線技師としての基礎的な事を学ぶことができました。今後もこのような研修会に参加して知識、技術向上に努めていきたいと思います。最後になりますが、ご講演いただいた先生方、このような機会を設けて下さったスタッフの皆さんに感謝申し上げます。



平成27年度 第1回 乳がん検診従事者講習会のお知らせ (東京都生活習慣病検診従事者講習会)

- 1 実 施 曰 : 平成27年11月20日(金曜日) 14時30分から16時30分まで
- 2 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟3階 304号室
- 3 対 象 : 都内の施設で、乳がん検診に従事している医師、診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師、看護師、事務職、保健所・区市町村の職員 等
- 4 受 講 定 員 : 先着60名程度
- 5 受 講 料 : 無 料
- 6 申 込 方 法 : ①『インターネット』 当センター ホームページ(講習会・研修会希望の方へ)
から「インターネット予約」にてお申込みください。
URL http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/juujisya_kousyuu.html
②『FAX』 裏面申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。
- 7 申 込 締 切 : 定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師 :

科学的根拠に基づく 乳がん検診の進め方

国立がん研究センターがん予防・検診研究センター
検診研究部検診評価研究室 室長
濱島 ちさと 先生

<講習概要>

「有効性評価に基づく乳がん検診ガイドライン 2013 年度版」では、これまで行われてきたマンモグラフィと視触診の併用法ばかりではなく、マンモグラフィ単独法が推奨されました。マンモグラフィ検診の有効性を正しく理解し、その利益と不利益を正しく受診者に伝えることで、継続的受診をサポートしていく必要があります。ガイドラインに基づき、マンモグラフィ検診の利益(死亡率減少効果)と不利益(偽陽性、過剰診断)について解説します。

《お申込み・お問合せ先》

公益財団法人 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当: 尾林
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297
E-mail: togan@tokyo-cdc.jp

※東京都生活習慣病検診従事者講習会の「申し込み」及び詳細は、次のホームページから。
URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

平成27年度 第1回
乳がん検診従事者講習会申込書
(東京都生活習慣病検診従事者講習会)

- 1 テーマ及び講師 『科学的根拠に基づく乳がん検診の進め方』
国立がん研究センターがん予防・検診研究センター
検診研究部 検診評価研究室 室長 濱島 ちさと 先生
- 2 日 時 平成27年11月20日(金曜日) 14時30分から16時30分まで
- 3 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟3階 304号室

上記の講習会を申し込みます。

申込者氏名	(ふりがな)			
職 種				
勤務先	名称			
	住所	(〒 - - -)		
	TEL		FAX	
	E-mail			

注:受講いただけない場合のみ連絡いたしますので、EメールまたはFAXのどちらかを必ずご記入ください。また、定員間近の場合、インターネット予約が優先となる場合がございます。ご了承ください。

《会場》 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟3階 304号室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

【最寄り駅】

- ★小田急線 「新宿駅」より各停2駅目
「参宮橋駅」下車
- ★ 徒歩約7分

【交通機関】 バスご利用の場合

- ★「新宿駅」西口から (16番乗り場より)
- ★「渋谷駅」西口から (14番乗り場より)
- ★停留所は、『代々木5丁目』下車



Pipe line

パイプライン

平成27年度 東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会のお知らせ

- 1 実施日：平成27年11月25日(水曜日)16時00分から18時00分まで
- 2 会場：東京都がん検診センター 3階講堂(下図参照)
- 3 対象：乳がん検診に従事している医師、放射線技師 等
- 4 受講定員：先着60名程度
- 5 受講料：3,000円(当日お持ちください)
- 6 申込方法：
①メールアドレスをお持ちの方
当センターHP 講習会予約フォーム
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>)からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 7 申込締切：定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師

テーマ：『ポジショニングの“何故”を考えましょう』

講師：聖路加国際病院 放射線科 小山 智美 先生

【講演概要】

正しいポジショニングひとつひとつの動作には“何故”そのようにしなければならないのかの“理由”があります。

また、間違ったポジショニングにも“何故”そのようにしてはいけないのかの“理由”があります。この講演では皆さんとこの“何故”を共有し、正しいポジショニングを改めて考える機会にしていただけることを目的にお話していきたいと思います。

正しいポジショニングで乳癌死亡率を下げることに貢献していきましょう。

《お申込み・お問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当：藤澤

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297

E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センターや下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センターや下車



平成27年度 東京都がん検診センター
第1回乳がん検診従事者講演会 受講申請書

日時：平成27年11月25日(水) 16時～18時

ふりがな 氏名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 _____
電話番号	
FAX	
職種	医師・臨床検査技師・診療放射線技師・その他()

※ 受講できない場合のみご連絡いたしますので、FAX番号をご記入ください。

第31回日本診療放射線技師 The 31st Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT) 学術大会

2015年11月21日(土)・23日(月)
November 21st(Sat)- 23rd(Mon), 2015

会長: 中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)

President: Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長: 虎 英彦 (公益社団法人 京都府放射線技師会 会長)

Chairman: Hidehiko Todoroki (The Kyoto Association of Radiological Technologists)

会場: 国立京都国際会館

Venue: Kyoto International Conference Center

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

Host: The Japan Association of Radiological Technologists

共催: 公益社団法人 京都府放射線技師会

Cosponsor: The Kyoto Association of Radiological Technologists

Traditional Culture and the Future
Provide excellent medical treatment with collaboration of public
and medical practitioner

伝統文化と未来

国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう

運営事務局
株式会社コンベンションリンクージ内 〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下る七軒音町634
TEL:075-231-6357 FAX:075-231-6354 E-mail: jcrt31@c-linkage.co.jp

Secretariat: Convention Linkage, Inc.
634 Shichikannon-cho, Karasuma-dori Rokkaku-sagaru, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8162, Japan
Tel:+81-75-231-6357 Fax:+81-75-231-6354 E-mail: jcrt31@c-linkage.co.jp

<http://www.c-linkage.co.jp/31jcrt/>



超音波画像研究会 第242回定例会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

日 時：平成27年11月25日（水）18時30分（受付18時00分より）

会 場：東都文京病院（東京都文京区湯島3-5-7）

テーマ：「肝疾患の診断から治療まで」

講 師：日本大学医学部 消化器肝臓内科 松本 直樹 先生

参加費：会員500円、準会員・非会員1,000円/新入会3,000円(入会金含む)、学生無料

肝疾患と一口に言っても、腫瘍性疾患、びまん性疾患、炎症性疾患と多岐にわたります。今回は日本大学医学部付属病院 松本 直樹先生にご講演頂き、幅広い肝疾患の中から、日常よく目にする疾患を超音波画像、他の検査、治療など診療のプロセスについて解説していただきます。画像所見、特徴を理解するとともに、病理、病態の理解、治療方法を知る事で、「臨床医が求める情報は何なのか」ということの理解を深めたいと思います。

問合せ先 中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて

tel 03-3691-1879 (16時30分～18時00分)

超音波画像研究会 事務局 e-mail us.image.workshop@gmail.com

平成27年度第2回
肺がん検診従事者講習会のお知らせ
(東京都生活習慣病検診従事者講習会)

- 1 実 施 日 : 平成27年12月4日(金曜日) 15時30分から17時30分まで
- 2 会 場 : 東京都がん検診センター 3階 講堂
- 3 対 象 : 都内の施設で肺がん検診に従事している医師、放射線技師、細胞検査士、臨床検査技師、保健師、事務職、保健所・区市町村の職員 等
- 4 受 講 定 員 : 先着50名程度
- 5 受 講 料 : 無 料
- 6 申 込 方 法 : ①『インターネット』当センター ホームページ(講習会・研修会希望の方へ)
から「インターネット予約」にてお申込みください。
URL http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/juujsya_kousyuu.html
②『FAX』裏面申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。
- 7 申 込 締 切 : 定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師 :

肺がん検診における胸部X線写真読影の
注意点について ~発見症例から学ぶ~

公益財団法人岡山県健康づくり財団附属病院
院長 西井 研治 先生

<講習概要> 胸部X線は1枚の写真で胸部全体の所見が得られるという情報量の多さ、施行の容易さ、低被曝、費用効率などの点で優れた検査法であり、現在でも肺がん検診の主役である。しかし、大多数の正常X線の中から小さな肺がんを見つけるためには経験と努力が必要である。検診フィルムの読影に際し注意する点を提示したい。

《お申込み・お問合せ先》

公益財団法人 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当: 尾林
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297
E-mail: togan@tokyo-cdc.jp

※東京都生活習慣病検診従事者講習会の「お知らせ」及び「申込み」は、次のホームページから。
URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

**平成27年度 第2回
肺がん検診従事者講習会申込書
(東京都生活習慣病検診従事者講習会)**

- 1 テーマ及び講師 『肺がん検診における胸部X線写真読影の注意点について～発見症例から学ぶ～』
公益財団法人岡山県健康づくり財団附属病院 院長 西井 研治 先生
- 2 日 時 平成27年12月4日（金曜日）15時30分から17時30分まで
- 3 会 場 東京都がん検診センター 3階講堂
上記の講習会を申し込みます。

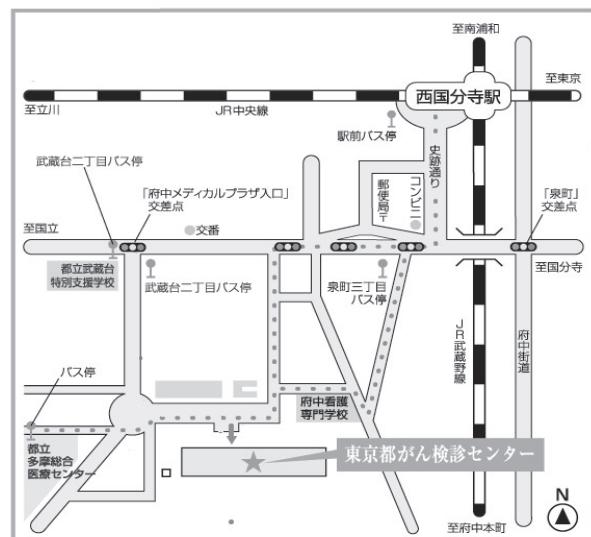
申込者氏名	(ふりがな)			
職 種				
	勤務先	名称		
		住所	(〒 - - -)	
TEL			FAX	
E-mail				

注：受講いただけない場合のみ連絡いたしますので、EメールまたはFAXのどちらかを必ずご記入ください。また、定員間近の場合、インターネット予約が優先となる場合がございます。ご了承ください。

《会場》東京都がん検診センター 3階講堂

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9番2号
TEL:042-327-0201 FAX:042-327-0297

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
(所要時間5分)
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口 「総合医療センター」行バス 終点下車
(所要時間10分)
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口 「総合医療センター経由 府中駅」行バス
終点下車
(所要時間10分)
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車
(所要時間20分)



Pipe line

パイプライン

平成27年度 東京都がん検診センター マンモグラフィ研修会（読影補助編）

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、読影の基礎を内容とした研修会を実施します。用語の解説などの講義を行い、読影実習では実際に症例を見て読影し解説を行います。

- 1 対 象： 診療放射線技師

2 実施日時： 第3回 平成27年12月10日（木） 13:55～17:30
第4回 平成27年12月11日（金） 13:55～17:30
※2回とも同じ内容です。

3 内 容：
13:55～ オリエンテーション
14:00～15:00 講義『乳がん検診の概要と所見用語の解説』 当センター放射線科技師
15:10～17:30 臨床マンモグラム読影実習（グループ実習） 当センター放射線科技師

4 会 場： 東京都がん検診センター 2階研修室 （下図参照）

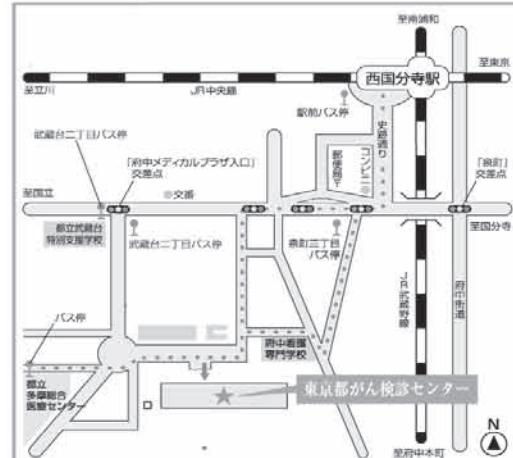
5 募集定員： 各回 先着36名（定員に達した時点で締め切ります）

6 受 講 料： 3,000円（当日、お持ちください）

7 持 ち 物： ルーペ（写真読影時に使用）、筆記用具

8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方
当センターHPから『インターネット予約』
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>)からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
*FAXにてお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。

9 申込み及びお問合せ先
(公財)東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 経理係 藤澤
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL:042-327-0201（代） FAX:042-327-0297 E-mail: togan@tokyo-cdc.jp



- JR 中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒步 15 分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 終点下車
 - 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センターや下車

平成27年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ~読影補助編~
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第3回 平成27年12月10日(木) 13:55~17:30

() 第4回 平成27年12月11日(金) 13:55~17:30

ふりがな
氏名 _____ 性別 男・女

勤務先名称 _____

郵便番号 〒_____

住所 _____

電話番号 _____

受講連絡先 _____
(FAX)

*お申込みいただいた方全員に、受講の可否をFAXにてご連絡いたします。

マンモグラフィ経験年数 _____

NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構 胃X線精度管理研究委員会 第24回学術集会

開催日時：平成27年11月28日(土)

受付開始：13時00分から

開催場所：発明会館

東京都港区虎ノ門2丁目9-14

当番世話人：岡 政志（埼玉医科大学総合医療センター）

実行委員長：山崎富雄（埼玉医科大学病院）

参加費：会員 1,000円、非会員 3,000円

テーマ「胃X線診断における背景胃粘膜の位置づけ（HPと胃炎）」

パネルディスカッション

パネリスト	岡 政志 中島滋美 水谷 勝 田中 端 高嶋優子	埼玉医科大学総合医療センター JCHO滋賀病院 東京都がん検診センター JCHO東京山手メディカルセンター 東京都がん検診センター
司会	岡 政志 伊藤高広	埼玉医科大学総合医療センター 奈良県立医科大学

症例検討会

司会	吉田諭史	慶應義塾大学
症例提示施設		東京都がん検診センター
		戸田中央総合病院

コメントーター 馬場保昌、入口陽介、小田丈二、杉野吉則

読影基準検討会（良悪性判定基準検討会）

11月29日(日) 9時00分受付(13時終了予定) : TKP神田(会費制) 先着80名

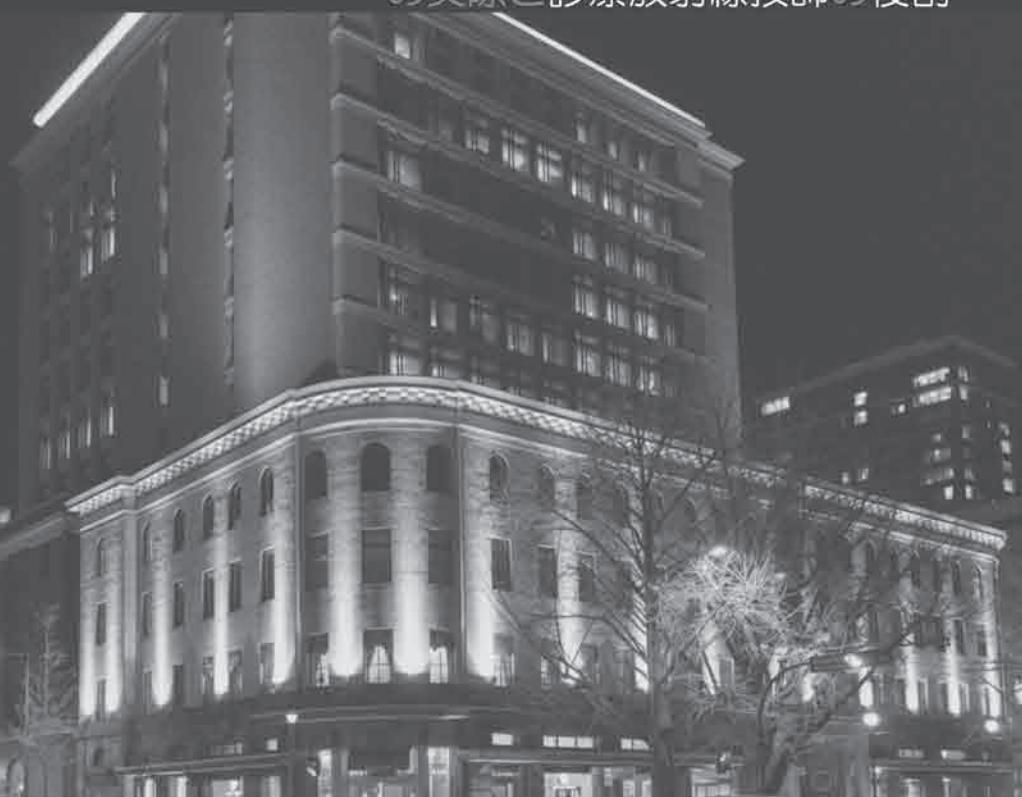
お問い合わせ：埼玉医科大学病院 中央放射線部

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

胃X線精度管理研究委員会 第24回学術集会事務局 山崎富雄

第2回 ステップアップセミナー

– ステントグラフト内挿術（*TEVAR・EVAR*）
の実際と診療放射線技師の役割 –



日時 平成 28 年 1 月 9 日 (土) 14:20 ~ 18:00

場所 横浜情報文化センター 6F 情文ホール
(〒231-0021 横浜市中区日本大通11番地)

交通 みなとみらい線 / 日本大通り駅 3番出口直結

受講費 JSRT会員 1,000 円 / 非会員 2,000 円

他職種の方の参加
も歓迎いたします

募集定員：200 名（先着順 定員になり次第募集終了となります）

募集 申込期間：平成27年11月9日（月）～平成27年12月4日（金）

申込方法：関東Angio研究会ホームページ（JSRT関東支部）

※詳細は裏面をご覧下さい。

JSRT関東支部 関東Angio研究会

超音波スクリーニング研修講演会2015有明のご案内

■会期：平成27年12月12日（土）午前9時25分～午後4時40分

*開場・受付開始：8時30分から

■会場：TOC有明ウエストタワー20階 コンベンションホール（WEST GOLD20）

東京都江東区有明3-5-7

*埼京線・りんかい線『国際展示場』駅より徒歩3分

*ゆりかもめ『有明』または『国際展示場正面』駅より徒歩4分

*アクセス <http://www.toc-ariake.jp/conv.html>

■参加費：5,000円 事前登録不要

■主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク（理事長：桑島 章）

■共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

■後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

■問合せ：E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp（事務局）

*超音波検査士更新5点が付与されます。

*ランチョンセミナーで軽食（800食限定）の用意をしています。

*超音波関連書籍の展示販売を行います。

プログラム テーマ「USスクリーニングに必要な知識」

09：30～10：15 『腎・膀胱』 関口 隆三（東邦大学医療センター大橋病院）

10：30～11：15 『胆道』 岡庭 信司（飯田市立病院）

11：30～12：15 『頸部領域…甲状腺・リンパ節他…』

宮川 めぐみ（虎の門病院）

12：45～13：30 ランチョンセミナー 『基礎と臨床の接点』

佐々木 博（国際医療福祉大学）

13：50～14：35 『肝臓』 森 秀明（杏林大学医学部付属病院）

14：50～15：35 『乳腺』 何森 亜由美（高松平和病院）

15：50～16：35 『脾臓』 平井 都始子（奈良県立医科大学附属病院）



第39回 日本脳神経CI学会総会

The 39th Annual Meeting of the Japan Society for CNS Computed Imaging

2016年1月29日金・30日土 会長 土屋一洋 (東京通信病院放射線科 部長)

会場 日経ホール T100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル 副会長 塩川芳昭 (杏林大学脳神経外科 教授)

治療に直結した神経放射線診断の実践

シンポジウム、セミナー、多数の演題から最新の研究のトレンドを知る
教育講演、フィルムリーディングで基礎知識をブラッシュアップ/アップデート

演題登録期間:2015年8月4日火▶9月15日火

■連絡事務局 株式会社コンペックス内 〒106-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 TEL:03-5425-1602 FAX:03-5425-1605 E-mail:cnsi39@convex.co.jp

<http://cnsi39.umin.jp/>

News

10月号

日 時：平成27年9月3日(木)
午後6時45分～午後8時00分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所
出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、
江田哲男、高坂知晴、高野修彰、安宅里美、
藤田賢一、平瀬繁男、竹安直行、岡部博之、
飯島利幸、千葉利昭、工藤年男
出席監事：乙井不二夫、野田扇三郎
指名出席者：齊藤謙一（第1地区委員長）、鈴木雄一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、今野重光（第10地区委員長）、崎浜秀幸（第13地区委員長）、内山秀彦（第14地区委員長）、原子 満（第15地区委員長）渡辺靖志（災害対策委員長）、矢野孝好（経理委員）、中嶋直人（庶務委員）、長谷川雅一（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、大脇由樹（総務委員）、河内康志（総務委員）
欠席理事：鈴木 晋
議 長：篠原健一（会長）
司 会：葛西一隆（副会長）
議事録作成：河内康志

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

会長挨拶

皆さま、多くの方はお久しぶりになります。夏休みで英気を養っていたところ、秋のシーズンがいよいよ始まりました。また、ご協力をお願い致します。毎年、東京都診療放射線技師会は「サマーセミナー」から本格的な秋の陣スタートということで、先週の土曜日に大勢の方にお集まりいただきました。会場も東京医科大学の素晴らしい教室をお貸しいただいて、大盛況で、良いスタートが切れたかと思います。

統一講習会も東京都診療放射線技師会が全国に先駆けて7月にスタートし、今週末に第2回を開催致します。また、いろいろな県でも実施されています。これに関しては日本診療放射線技師会の中澤会長とお話しする機会があり、いろいろな情報を得た中で、業務範囲の拡大について厚生労働省では診療放射線技師だけではなくすべての職種に対してですが、検証委員会を設けるという話がありました。具体的には、それぞれの職能団体が業務範囲を拡大したことに対して適切な患者安全に対する教育活動、つまり、統一講習会や安全講習会などを各職能団体が適切に実施しているか。また、「適切」とは質の担保や人数の確保ということになり、それらを検証していきます。それから業務範囲の拡大を行ったことによって、日本の医療は良くなつたのか、ということを検証してまいります。この検証結果如何によつては更なる業務範囲の拡大に繋がる可能性もあります。また、逆も真なりで業務範囲の拡大の結果、現場の状況の悪化や患者の安全が疎かになってはならないので、良

い検証結果となるよう活動を行っていきたいと思います。

もうひとつ、中澤会長とお話しの中で現在、取り組んでいることで臨床実習のあり方について検討会議を設けるための働きかけをしていることがあります。これには、厚生労働省と各養成校に対する訴えかけが必要で、現状では単位数は決まっているが臨床実習の内容は各実習施設に任せられており、養成校からは実習生を預かってもらう立場なので、実習内容を具体的に要望しづらい実態があります。診療放射線技師の臨床実習であればこういうことを学ばせるといったガイドラインが作成できないかということで進めています。また、新しい情報が入りましたらお知らせ致します。

報告事項

1) 会長

- ・7月25日（土）～26日（日）に湯河原で行われた日本診療放射線技師会の第6回ワークショップならびに第3回理事会に出席してきました。その理事会の中で先ほどお話しした内容も話されていました。
- ・8月3日（月）～4日（火）に中澤日放技会長と都内の大学以外の養成校（専門学校）をまわって、将来的には診療放射線技師教育を四年生大学以上にしたいと要請をしてきました。それぞれ、学校の立場や規制により大学になれない場合もありますが、技師会としては、四年生大学以上とお願いをしてきました。また、東京電子専門学校は、夏休みのため訪問できませんでした。
- ・8月20日（木）～23（日）にシンガポールで開催されたAACRTに参加してきました。そこで2019年の開催国として立候補してきましたが、投票でオーストラリアと8票対8票で同票となり、抽選の結果2019年の開催国は、オーストラリアに決定致しました。通常は4年後の開催国を決定しますが、今回は投票結果が同票であったため

6年後になる2021年に日本で開催することまで決定致しました。ただし、ひとつ問題があります。2019年のAACR T東京開催に合わせて日本診療放射線技師会の全国大会を東京で開催できるよう立候補表明しました。まだ、日本診療放射線技師会の理事会では正式に機関決定はされていませんが、AACR T開催と同じ2021年に東京で全国大会を開催することが望ましいので、日本診療放射線技師会からも他の都道府県に打診をしていただいています。2019年は他の都道府県で開催していただき、できれば2021年に全国大会を東京で開催できるよう努めていますので、皆さまもご協力をお願い致します。

・その他、活動報告書に追加なし

2) 副会長

葛西副会長

・7月12日に基礎技術講習に参加した。その他、活動報告書に追加なし。

白木副会長

・7月22日に3役と市川理事とで技術学会東京支部の役員の方々と合同会議に参加した。

その他、活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務委員会：石田理事

・7月16日に城東支部研修会に参加した。その他、活動報告書に追加なし。

経理委員会：関理事

・8月29日に第14回サマーセミナーに参加した。その他、活動報告書に追加なし。

庶務委員会：野口理事

・7月18日～19日に第1回統一講習会を開催した。その他、活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会

・厚生調査委員会（7/11、8/25）、編集委員会（7/18、8/10）、情報委員会（7/9）、学術委員会（8/7）総務委員会（8/19）がそれぞれ開催された。その他、活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

・各地区より委員会開催について報告があった。その他、活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

・災害対策委員会（7/21・22）が開催された。その他、活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

・第14地区委員会（9/10）、表彰委員会（9/16）が申請された。その他、活動報告書に追加なし。

議事

1) 後援名義使用申請の件

①第6回関東臨床工学会（主催：一般社団法人 東京都臨床工学会／関東臨床工学協議会）

平成27年9月13日（日）大手町サンケイプラザ開催の後援名義使用について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

②第8回日本訪問リハビリテーション協会学術大会in東京（主催：一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会）平成28年6月17日（金）～18日（土）タワーホール船堀開催の後援名義使用について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

2) 事業計画申請の件

①荒川河川敷清掃活動

平成27年10月18日（日）10:00～13:00 北区 荒川岩淵閑緑地の実施について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

②第50回日暮里塾ワンコインセミナー（メール会議承認）平成27年10月22日（木）19:00～20:30 東放技研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

③中央区健康福祉まつり 2015

平成27年10月25日（日）9:00～16:00 中央区保健所開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

④第13地区・多摩放射線技師連合合同研究会

平成27年10月30日（金）19:00～20:30 国分寺労政会館第4会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

⑤平成27年度第3回業務拡大に伴う統一講習会（南関東）

平成27年11月7日（土）13:50～17:30

平成27年11月8日（日）8:25～17:10 JR東京総合病院開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

⑥OTAふれあいフェスタ 2015

平成27年11月7日（土）9:00～16:00

平成27年11月8日（日）9:00～16:00 平和島競艇場開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

⑦第18回メディカルマネジメント研修会

平成27年11月12日（木）19:00～20:30 東放技研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

⑧第51回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く／入会促進＞

平成27年11月17日（火）19:00～20:30 東芝病院2号館4階 講堂開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

⑨第3地区研修会

平成27年11月19日（木）19:00～20:30 東京医科大学病院 研究教育棟3階 第一講堂開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

3) 新入会等に関する件

7月・8月の新入会・編入・退会等について審議した。

7月 新入会 26名、退会1名

8月 新入会 9名、転入2名、転出1名、退会4名

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見に関する事項

【第3地区】

①統一講習会に関する事について質問です。まだ第1回講習会が始まっていないのにすでに認定を受けている方が知人で3人います。どのような理由で先に認定を受けられたか教えていただきたい。

篠原会長：日本診療放射線技師会として事業を進めるにあたって、選定された方たちになります。その方たちがどこの施設の方たちかは分かりませんが、それなりの役割を担った方たちである。

②第1回統一講習会で受講番号1～20番の方はどういう方なのか教えてください。

篠原会長：日本診療放射線技師会の意向による事業推進のための指導者養成対象者である。

【第4地区】

①第4回理事会の中の、第2地区からの質問的回答で、自動引き落としを日本診療放射線技師会と一緒に使う方向にあるが、そのようになると、手数料などはどうなるか。考える必要があるのではないか。

篠原会長：基本的には日本診療放射線技師会と合算請求なので、日本診療放射線技師会が手数料を持つのですが、まれに、東京都診療放射線技師会のみの方がいるので、その方たちの自動引き落としについては日本診療放射線技師会に確認する。いずれにしても会員が手数料を負担するということではなく、振り込まれる側の技師会が負担する。

②委員より統一講習会の申し込みの定員ですが、最初54名と書いてあったが、最終的に60名となっていた。どうして6名増えたのか教えてほしい。

野口理事：統一講習会の定員は60名ですが、54名に減らしました。理由は、研修センターに60名入れないことが判明したからである。

竹安地区委員長：できれば事業報告も提出していただければ、参加者や会場の規模を把握することができるのよろしくお願いします。また、広い会場になっても60人以上の講習は、難しいのでしょうか。

篠原会長：講習で使用するファントムや指導者の数の関係から60人が限度と考えています。

竹安地区委員長：会場を変更することは、金銭面など難しいのでしょうか。

野口理事：違う場所も検討しています。本理事会で承認を受けました第3回の統一講習会は、JR東京病院で開催致

します。募集人数も60名でおこなう予定である。

連絡事項

1) 総務委員会

・上半期を9月いっぱいまで、一度、締めます。活動報告をまとめていただきますが、あとから送ったひな形が正式なものになります。これが年度末の活動報告として会誌に掲載されますので、参加人数をひな形に乗っ取って正確に書いていただくようお願いします。締め切りを9月の24日としますので、それまでに総務委員会まで返信するよう、お願い致します。

工藤理事：活動報告は9月24日までのものか9月いっぱいまでどちらですか。

石田委員長：とりあえず、24日までの分を出してください。それ以降の分は後から付け足します。

・以前、メールでお知らせした役員研修会ですが、12月5日（土）～6日（日）で行います。どちらの日に理事会を開催する方がよいかアンケートを取りました。5日（土）の開催希望が多かったので例年通り土曜日の15時から開催致しますので万障お繰り合わせの上ご参集ください。

・日本診療放射線技師会より、医療監視について業務拡大に関しての問い合わせが多くあるので調査を行いたいとのことで、各都道府県の会長宛で依頼がきています。締め切りの平成28年3月31日までに、いつ、どこで、なにを聞かれたか報告してくださいとのことですので、各地区委員長は医療監視があった時点で私が集約致しますので総務まで報告してください。まとめて、日本診療放射線技師会に報告致します。

篠原会長：3月31日の医政局の課長通知で業務範囲の拡大にあたっては、日本診療放射線技師会が実施する統一講習会を受けることといった内容が通知されました。これに基づいて、都の立ち入り検査が入り、実際に理事のところでは担当官に統一講習会を受けたものでないと行ってはいけないということを言われています。また、6月に立ち入り検査を受けた施設では、まだどこも統一講習会をおこなっていないので、日本の診療放射線技師はだれもできないということを言われています。こういった情報を全国で集めたいといったことが主旨になります。

千葉理事：先日、立ち入り検査を受けましたが、“統一講習会は受けていますか？”という問い合わせ受けなければできませんといった感じではなく、こちらもなるべく受けるようにしたいと回答しました。

篠原会長：もしかしたら、担当官が違ったのかもしれません。いずれにしてもこういった情報を集めたいのよろしくお願いします。

2) 厚生調査委員会

・今回、災害対策委員会からの要望がありまして、災害時

の対応に関するアンケートを、都内の300施設を対象に、発送させていただきました。締め切りが9月の下旬になりますので、届いた施設の方は、ぜひともご協力よろしくお願いします。

3) 学術教育委員会

・9月17日（木）に第15回の技術学会東京支部と東京都診療放射線技師会と合同学術講演会を開催致します。「3Dプリンターによる医用画像の造型」のテーマで医療画像への取り組みについて基本的なお話ししていただこうと思っています。現在、申し込みが少なく苦戦しています。東京支部の方も来られますので、技師会からも参加、協力よろしくお願い致します。最低でも参加者を30~50人くらいにはしたいので、地区からもご協力お願いします。また、今回の企画は技師会ですので、できれば東京支部より多くの方に参加していただきたいです。

篠原会長：合同学術は東京支部と技師会で交互に企画をうけもっていて、今年は技師会が当番になっていますので、できるだけ皆さんのが参加をお願い致します。市川理事の腎臓の模型も触れるようです。

4) 広報委員会

・いよいよ、イベントシーズンに突入しました。少し先で

すが、10月25日（日）に「中央区健康福祉まつり」、11月7日（土）～8日（日）に「OTAフェスタ」が開催されます。皆さま、ご協力よろしくお願いします。

5) 城北支部委員会

・9月25日（金）に城北支部研修会を東京大学医学部附属病院 中央診療棟27階 中会議室で開催致します。「ロボットスーツHAL」をリハビリテーション部 長谷川先生に講義していただきます。混み合うかもしれませんのが、皆さま参加よろしくお願いします。

6) 第11地区委員会

・来週金曜日の11日に第11地区で情報交換会をおこないます。自由が丘で19時より開始致します。案内を送信致しますので、よろしければ来週金曜日、自由が丘へお越しください。

今後の予定

予定表（添付ファイル）の確認をお願いします。また、間違っているところがありましたら連絡ください。

以上

患者さんに 愛しいあたたかさを…

寝台用保温マット

薬事非該当商品

MORIYAMA

患者さんが寝台に乗ったときの
“ヒヤツと感”と“硬さ”を
緩和します。

カーボン面状発熱体の
採用により、マット面全体に
均一な保温性と、優れた
X線透過性を実現しました。

※一般診察台、X線撮影台、ブッキー撮影台などにご利用
いただけます。
※本マットは起倒型寝台、手術台には対応しておりません。
※電波障害の恐れがありますので、心電計等を併用する場
合は事前に確認してください。

裏面(滑りにくい材質を採用)

オプション
マットカバー(不織布防水コート付)
※MW-01、MW-02共にご用意し
ております。

WARM MAT
for Patient comfortable

※カタログをご希望の方は、下記の弊社営業部宛て請求ください。

MORIYAMA
MEDICAL EQUIPMENTS
SINCE 1954

株式会社森山X線用品

MORIYAMA X-RAY EQUIPMENTS CO.,LTD. <http://www.moriyama-x.co.jp> E-mail info@moriyama-x.co.jp

営業部/〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番11号 TEL.03-3811-5811(代) FAX.03-3811-5484

本社/〒123-0873 東京都足立区扇1丁目52番12号 TEL.03-3898-3151(代) FAX.03-3898-3510

会費減額制度のお知らせ

公益社団法人東京都診療放射線技師会の「会費減額」制度をお知らせいたします。

本制度は本会「会費に関する規程 第9条（会費減額）」に基づき、規定の年齢を迎えた本会会員を対象とし年会費優遇の特典を設けております。

この制度は、諸先輩の方々の豊富な経験により培われた医療における接遇や技術を、後進の会員はもとより、都民ならびに社会のために継続して役立てていただくことを目的としております。

ご退職と同時に本会を退会されるのではなく、この制度をご理解のうえ、ぜひ今後ともご協力・ご指導をお願い申し上げる所存です。

なお、本制度を申し込む場合は、前年末までに所定の申請を行っていただく必要があります。

皆さまのご活用を心よりお待ち申し上げております。

※ 会誌巻末の会費減額処置申請書に必要事項を明記のうえ、当会事務所まで届出てください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程

(第9条抜粋)

(会費減額)

第9条 定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。

- (1) 60才以上の会員
- (2) 10ヶ年以上会員として在籍し、会費の完納者
- 2 当該年度の前年末までに所定の申請を行い、〔様式6〕、理事会承認を経て新年度から資格を有する。
- 3 会費減免対象者の会費は以下のとおりとする。

(1) 60才以上～70才未満	年額	7,000円
(2) 70才以上	年額	3,000円
- 4 会費減額者は以下の特別待遇を受けることができる。
 - (1) この法人で行う啓発、教育活動を担える者として待遇する

会費減額処置申請書

私は、会費減額処置を申請いたします。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 殿

氏 名			
氏 名 (カタカナ)			
氏 名 (英語)			
性 別	男 性 · 女 性		
生年月日	昭和 年 月 日 生 (歳)		
勤務先	勤務先名		
	勤務先所在地	〒 -	
	電 話		
自 宅	現住所	〒 -	
	電 話		
本会よりの通信先		勤務先 · 自宅	
技師籍	資格取得	診療エックス線技師 · 診療放射線技師	
		第 回 国家試験合格	
		年 月	
	技師籍登録	厚生労働省 第 号	
	年 月		
技師歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
関連免許	免許名	登録番号	登録年月日
			年 月
			年 月
			年 月
備 考			

技師会歴 昭和 年入会 (年間)

受 付 平成 年 月 日

理事会承認 平成 年 月 日 印

減額処置通知 平成 年 月 日 印

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成27年度

1. 学術研修会

第18回メディカルマネジメント研修会	平成27年11月12日（木）
☆第14回ワインターセミナー	平成28年1月23日（土）

2. きめこまかな生涯教育

第56回きめこまかな生涯教育	平成27年10月31日（土）
第57回きめこまかな生涯教育	平成28年2月20日（土）

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第51回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く／入会促進＞	平成27年11月17日（火）
第52回日暮里塾ワンコインセミナー（第13地区研修会合同開催）	平成28年1月21日（木）

4. 集中講習会

第8回MRI集中講習会	平成28年2月8日（土）
-------------	--------------

☆5. 支部研修会

城西・城南支部研修会

6. 地区研修会

第6地区研修会	平成27年11月6日（金）
第3地区研修会	平成27年11月19日（木）
第4地区研修会	平成27年11月27日（金）

第13地区研修会（第39回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）	平成28年1月21日（木）
---------------------------------	---------------

7. 特別委員会研修会

災害対策委員会研修会

8. 地球環境保全活動

日暮里駅前清掃活動	平成27年12月20日（日）
荒川河川敷清掃活動	
富津海岸清掃活動	

関連団体

平成27年度第3回業務拡大に伴う統一講習会	平成27年11月7日（土）～8日（日）
-----------------------	---------------------

平成27年度第1回乳がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）	平成27年11月20日（金）
--	----------------

第31回日本診療放射線技師学術大会	平成27年11月21日（土）～23日（月）
-------------------	-----------------------

超音波画像研究会 第240回定例会	平成27年11月25日（水）
-------------------	----------------

平成27年度東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会	平成27年11月25日（水）
----------------------------------	----------------

胃X線精度管理研究委員会 第24回学術集会	平成27年11月28日（土）
-----------------------	----------------

平成27年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」	平成27年11月29日（日）
----------------------------	----------------

平成27年度第2回肺がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）	平成27年12月4日（金）
--	---------------

平成27年度東京都がん検診センター 第3回マンモグラフィ研修会（読影補助編）	平成27年12月10日（木）
--	----------------

平成27年度東京都がん検診センター 第4回マンモグラフィ研修会（読影補助編）	平成27年12月11日（金）
--	----------------

平成27年度第3回関東Angio研究会（第2回ステップアップセミナー）	平成28年1月9日（土）
-------------------------------------	--------------

超音波スクリーニング研修講演会2015有明	平成27年12月12日（土）
-----------------------	----------------

第39回日本脳神経C.I.学会総会	平成28年1月29日（金）～30日（土）
-------------------	----------------------

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

（新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

[様式 3]

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号					
氏名	印				
氏名(カタカ)					
性別	男性・女性				
生年月日	昭和	平成	年	月	日生
メールアドレス					

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓(変更後の氏名)	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

□住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒一
	電話	
旧自宅住所		

□その他

通信欄	
-----	--

受付 平成 年 月 日
確認 平成 年 月 日 印

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立69年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇

賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実勤7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備（私学共済）

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、担当できる教科（可能であればお知らせください）

担当者：脇坂 哲夫 E-mail : wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL : 03(3982)3131(大代表) FAX : 03(3980)6404

JMB 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、今迄数多くの病院・医療機関等より要請を承っております。

勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望に合わせてお仕事をご紹介いたします。

医療スタッフを随時募集しております。ご友人などのご紹介も随時受け付けております。

★まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご説明させて頂きます。

★登録・紹介料は不要です。

★受付時間 平日 9:00～17:30

土曜日 9:00～13:00

（日曜日・祝祭日休み）

株式会社ジャパン・メディカル・プランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 TEL : 03-3869-5801

URL : <http://www.jmb88.co.jp> FAX : 03-3869-5802 E-mail : info@jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可 般13-301371 有料職業紹介事業許可 13-ユ-130023

Postscript

「第九を歌おう！」。そう思いついたのは、昨年の初夏のこと。早速、仕事終わりにレッスンに通えそうな団体のいくつかに応募するも、ことごとく落選。第九を歌った経験がないどころか、合唱経験は中学校の校内合唱コンクール（生徒全員強制参加型）程度なので、仕方がないといえば仕方がない。

そして、今年。ダメ元で、昔からファンである指揮者が総監督をやっている合唱団に応募したところ、なぜか当選！念願の第九デビューとなつた。

レッスンは夏からはじまつた。第九はすべてドイツ語で、本番は楽譜を見ないで歌う。ドイツ語。学生の頃は苦手で嫌いな教科だったことを、レッスンが始まつてから思い出す。ウムラウトって何の口をして何て言うんだっけ？記憶を辿るというより、新たに習得する感じだ。楽譜を読むのも久しぶりだし、暗譜できるのだろうか。一瞬、不安が頭をよぎる。

レッスンは週1回。ドイツ語の子音の強い発音や巻き舌は日本語にはないが、やってみると何とも心地よい。今まで、第九は有名すぎるあのメロディしか知らなかつたが、初めて全体を聴き、実は変化に富んだ非常に美しい曲であることを知つた。この曲が発表された当時は、きっと音楽が溢れる今よりも衝撃的だったに違ひない。ピアノの音色、男声の力強さ、女声の柔らかさ、それらが重なつたときの美しさ。音楽っていいな。総監督の言う「音の神殿を皆で作り上げるオモシロさ」を感じる。オーケストラと歌う本番は、感動に溢れる予感がする。気づけば音楽の魅力にはまり、レッスンが心待ちになつてゐた。

本番は12月上旬。今から楽しみである。

(Chai姉)

■ 広告掲載社

コニカミノルタヘルスケア(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
(株)日立メディコ
富士フイルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第62巻 第10号

平成27年10月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成27年11月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一
編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康
内藤哲也
岩井譜憲
森美加
中谷麗
柴山豊喜
平田充弘
高橋克行